京城日報
十六日夕刊

同盟軍守勢

獨逸大本營御前會議の結果

伯林來電に曰く、東部戰線の獨逸大本營に於て今後同盟軍は如何なる方面より優勢なる敵を撃破すべきやに關し作戰上の統一を圖る爲め御前會議を開きたり其の結果同盟軍は當分結束して守勢を持し適當の時機を待つて全線攻撃に轉ずるに決せり（紐育電報）

獨勃の巴爾幹大攻撃

兩國元首會議により計畫中

最近傳へらるゝ所に依れば伯林に於ける獨勃兩國元首會議に於て兵力三十萬を以て巴爾幹半島に對し大攻撃を開始する計畫中なりと（桑港電報）

佛軍ペロンヌを包圍す

佛軍はペロンヌの三方面を包圍し且佛軍の砲火は同市に至る總ての道路より敵を一掃しつゝあり獨軍は此の方面に對しヴェルダン攻撃軍を割き逆襲を試み居れり（桑港電報）

我兵又復射撃せらる

蒙軍退却援助の我佐藤混成支隊兵又復支那兵の爲め射撃せられたり（長春電報）

支那回答内容如何

支那政府より林公使に對せる回答は鄭家屯事件の責任者馮麟閣處分と日支衝突防止手段を講ずべしとの二件に留まれりとの說あり（北京電報）

唐氏北上

唐紹儀氏の外交總長就任條件中黎總統及段國務總理が三條を採用せざるを以て唐氏は十八日頃北上すべし（上海電報）

棉作豫想

四千七百五十九萬斤
前年より五分八厘增

大正五年の棉作は發芽當時の天候順調なりしも爾後降雨多かりしより京畿忠淸全羅南道江原道等に於ては多少の被害を見るに至りしが其の他の各道［illegible］

［illegible］

粟作豫想

［illegible］

殿下長春御發

［illegible］

政務總監歸任

［illegible］

長官以下歸任

［illegible］殿下奉送の爲め安東［illegible］長官三本理事等は十［illegible］車にて歸任せり

石塚長官東上

石塚英藏氏は十九日南大門驛發汽車にて［illegible］出張期間は約二週間也

師團長檢閲

［illegible］長は竹内高級副官、大［illegible］主計、谷口軍醫、［illegible］六日朝龍山發元山へ［illegible］元の上元山部隊の［illegible］七、十八兩日元山部［illegible］日午後訓辭を爲し十［illegible］し同夜馬鄭洞一泊二［illegible］に到り同日陽德部隊［illegible］節を與へたる後同地出［illegible］し二十一日檢閲、二［illegible］泊の上二十三日元山［illegible］

射撃演習檢閲

［illegible］

古海總長歸任

［illegible］

廣瀨主計監著

［illegible］

王妃忌辰日

［illegible］

實業視察團

［illegible］

▲上野電力株式會社監査役林竹市（同）▲宇都宮銀行監査役村山太助（同）▲四十一銀行常務取締役菊池次郎（同）▲肥料商荒川藤吉（同）▲海產物商市原與藏（同）▲雜貨商渡野松藏（同）▲加蘇貯蓄銀行取締役金子鳴三郎（上都賀郡）▲日光銀行常務取締役中山森一郎（河內郡）▲栃木縣農工銀行監査役堀越陶一郎（上都賀郡）▲鹿沼郵便局長金子信次郎（上都賀郡）▲氏家銀行取締役頭取高橋常次郎（鹽谷郡）▲鹽谷郡會議員福田作次郎（鹽谷郡）▲宇都宮商業銀行取締役八木澤專吉（宇都宮市）▲商業會議所書記長荒川淸五郎（同）

▽朝鮮內視察行程

▲九月十七日前六、〇〇釜山著▲十八日前六、〇五釜山發前一〇、四八大邱著後五、四〇大邱發▲十九日前六、二六南大門著▲二十日▲廿一日此間京城仁川水原視察▲廿二日後九、四〇南大門發▲廿三日前四、一四平壤著▲廿四日前六、三〇平壤發

熊本縣視察團

熊本縣教育會主催鮮滿視察團一行約四十名は十八日熊本發十九日午後九時南大門驛著列車にて京城に入り京城市中の視察を爲し廿一日仁川往復同夜平壤に赴き一泊、廿三日平壤發安東に到り北行の豫定にて歸路は大連より海路によるべしと

鮮內の流行病

其の筋の調査に依れば本年一月以來七月末までに於ける流行病患者は［illegible］百九十五名內死者九十［illegible］四百四十八名內死者［illegible］三十三名內死者六名［illegible］十二名內死者五名猩紅［illegible］名內死者六十五名合計［illegible］內死者四十四名チフテ［illegible］百八十三名死者四百八［illegible］兩月は時疫最も流行の［illegible］後に於ても尙ほ患者の［illegible］從つて總數の激增を［illegible］

列車醫員新設

［illegible］鐵道局にては警務總監部と協議の上列車（一、二、五、六の四列車）に醫員一名宛を常務乘込ましめ患者に就き傍診せしめる事と成り九月十五日より實施する事と成れり

咸南小鰊大漁

咸鏡南道端川郡沿海に於ける小鰊漁業は六月七日より開始せられ七月二十三日に終了せるが此の間の漁獲高（一百三千一萬二百尾）にて二萬一千百五十圓を算し其の漁獲の小鰊中一萬石は內地に移出し五千石は咸興豐山等の山地に搬出し二千七百石は津より汝津の沿岸又は〆粕に製造の上［illegible］本年の如き大漁期は稀有の現象なるが此の事にして特に漁期は勿論郡內海岸附近の男女を問はず鰊干其他にて尠からざる勞銀を［illegible］頗る活氣を呈し非常［illegible］

大邱煙草新生面

大邱を中心とし南鮮に於ける煙草製造家は漸次材料騰貴の爲め少なからざる苦心をなし此際値上を決行せんと企てしも道の如くならず目下の情況にて推移せば缺損を見乍ら製造せざる可らざる悲況にあり專賣法施行實現を豫想しつゝある製煙家は他まで現狀維持にて進まんと決心しなるものゝ如くなれど其實現期さへ不明なる今日なれば更に局面を轉換し一方刷新を製造して時代の嗜好に接すると共に他方在大邱製煙業者の合同團結を見て斯業の基礎を固うせんと重立者相協議中なるが餘程順調に纏まり不日合同組織の製煙業を見る可しと

慶北各郡品評會

本道に於ては來十一月各府郡島を東、西、南、北の四區に分ち物產品評會を開催する事に決し準備中なるが其開設地及び開期は下の如し東區、慶州、迎日、盈德、各郡及び鬱陵島は迎日にて十一月十六日より五日間、西區、尙州、金泉、聞慶、善山の各郡尙州にて同月十日より五日間、南區、大邱、淸道、達城、慶山、漆谷、高靈、永川、軍威の各郡淸道にて同月廿二日より五日間、北區、義城、安東、靑松、醴泉、榮州、奉化、英陽、各郡安東にて同月二日より五日間

慶北輸移出穀檢査

九月一日より十日間慶北輸移出穀物改良組合に於ける玄米の檢査は金泉三、四八九叺、倭館三、一二五、慶山七五九、淸道四五六、浦項六一六、浦一四六合計八、五八七叺にして慶山の比較的少數なるは河陽道路橋梁墜落後交通運搬不便の結果なりと因に累計檢査叺數十五萬四百六十なり

三宅博士退京

東京農科大學教授三宅博士は總督府度支部專賣課所管の人蔘特別耕作區內に於ける諸般の調査を了へ十六日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京せり

阿部社長視察

本社社長阿部充家氏は十六日朝南大門驛發汽車にて湖南沿線視察の途に就けり天安より野田東拓副總裁と會合同行せるが十六日は兩氏共光州一泊十七日は野田副總裁は榮山浦一泊、阿部社長は木浦一泊十八日は榮山浦にて會合歸京の途に就き都合に依り同夜は大田一泊の筈なり

元山

▲元山以北船復不足　昨今著しく浦鹽行き貨物の增加を示し來れる結果元山以北に於ては尠からず船腹の不足を告ぐるに至れりと雖も船腹は依然非常に過少なるが故に從つて貨物の停滯多きと發送の手控等に依り最近浦鹽行き貨物の如きは倘ほ一百噸內外の停滯を示せる一方急を要する淸津行き鐵道工事用材等は帆船にて運搬せざるべからざる止むなき狀態なり▲元山繁榮會例會　元山繁榮會には十五日六時三十分より例の如く丸芳樓に於て評議員會を催したるが當夜は近く［illegible］山商業會議所に轉任すべき石井彥三氏及び新任鮮銀支店長久我淸廣氏を招待の上催宴し頗る盛會なりき▲岡本檢事正　管內狀況視察の爲め十四日來元滯在中なる咸興地方法院檢事局檢事正岡本至德氏は十七日元山を出發し安邊方面より順次江原道各地に於ける事務視察を行ふ筈▲憲兵分隊長　元山憲兵分隊長高瀨閏治氏は五日間の豫定にて管內狀況の視察をなすべく十四日出發せり▲郵便局長　郵便電信線路其他狀況視察の爲め十二日出發したる元山郵便局長若森美樹氏は新浦より北靑を經て新加坡鎭方面まで向ふべしと

春川

▲守備隊の集合　春川守備隊の指揮下に屬する金化麟蹄伊川の各分屯中隊は第三期檢閱の爲め十二日來春其々指定の箇所へ宿營したるが十八日迄は主として大隊教練を行ひ當隊は大隊長の來春を俟ちて第三期檢閱に著手する筈なり因に從來之れ等分屯中隊の檢閱は隊長現地へ出張施行せられつゝありしを以て大隊全部の集合を見る事稀にして戰鬪教練の目的を達する上に於て遺憾少からざりし由なるが師團常設と共に教育方針も內地式に變更されつゝありと謂ふ▲朝市の好況　市區改正工事竣成し新面目を施したる春川は郡當局と鮮人側に於て朝市開設の議起り彌々十日より實施せられたるが三日間は各部落の鮮人踊出で各商店は種々の裝飾を施し此開市を祝ひ晝夜共人出多く却々盛況を極めたるが開市時間は毎朝午前五時半より七半迄なり而して其目的は主に蔬菜類其他物價の調停供給の圓滑を圖る爲なりと▲兒童作業室計畫　春川郡に於ては今回公立普通學［illegible］

清州

▲主計正來淸　憲兵隊司令部附宗木主計正は今回新設せられたる丹陽憲兵分隊事務視察のため十七日淸州着同日午後同地に向ふ筈▲司法事務講習會　忠北警務部にては管內各憲兵分隊、分遣所、警察署員中現に司法事務を取扱ひつゝある憲兵下士及び警部巡査部長等を召集し來る十八日より七日間司法事務並執達吏事務講習會開催の筈なり▲統計事務講習會　忠北警務部にては總監部井坂囑托を聘して管內各分隊分遣所警察署員中各一名の巡査憲兵を召集し十一日より十五日迄五日間統計事務講習會を開催し十五日試驗の結果豫期以上の好成績を得たりと▲昨今の天候と忠北稻作　昨年度收穫に比し一割餘の增收を豫想せられたる忠北本年度稻作も去る五日以來の大降雨と兩三日來急劇に來りたる氣溫低下とに依り著大なる惡影響を受けたるならんと氣遣はれたるが當局の談に依れば降雨にて晚種には多大なる影響ありしならんも早中稻にはさしたる影響なかりし氣溫の低下は頗る憂ふべきものあり目下調査中なるが現在にては昨年の收穫量を下ることは絕對になかるべき見込なりと▲忠北の堆肥調製　從來農民の作物施肥に對する知識低級にて殆んど顧ざる傾あり農事改良上の支障多きを遺憾とし忠北道にては共同堆肥製造を極力奬勵しつゝありし結果頃來一般に其必要有益なるを知悉せられ目下盛んに調製に著しつゝありとのことなるが農事改良上の一進步と云ふべし

公州

▲奉贊會獻金高　忠南の奉贊會獻金割當額は四千圓なりしが其の筋に於ては單に事業の主旨を傳へたるのみに過ぎざりしが之を傳へ聞きたる者は皆進んで獻金を申込み八月末日迄に於て既に八千九百三圓の多額に達し其の人員一萬一千三百十二人を算するの盛況にして殊に鮮人の如きは善く其の主旨を會得し自發的に出金せし者頗る多し▲種子田好況　本道に於ては從來早稻神力、多摩錦、石白等の改良種を奬勵し居たるが之等の改良原種子を作らんが爲め論山郡に四町步の原種田を設置したる處其の生育非常の良好にして一本植の稻株張旺盛なる事附近民有田と懸隔の差あるを以て一般農民は今更改良種の善良なるに驚き種子の撰擇と栽培方法等に就き非常の教訓を與へつゝあり▲郡書記講習會　本道に於ては本月十五日より十五日間の豫定を以て管內鮮人郡書記の講習會を開催する事に［illegible］

大邱

▲大邱慈惠院竣工期　新築中の大邱慈惠醫院本館は已に八分の工程を了し目下家根葺最中なるが遲くも來月十日頃までには落成する筈▲仙波氏出發　前朝鮮銀行大邱支店長仙波正太郎氏は廿一日當地を引上げ當分京都に滯留すべしと▲畜產技術員會議　慶北道に於ては本月十八日より二日間本道畜產技術員會議を二十日屠獸檢査員會議を二十一、二の兩日は畜產講習會を開く筈▲繰綿工場發動機据付　大邱に於ける鈴木繰綿工場は吸入瓦斯發動機を据付く可く警務部に認可申請中なりしが去十五日附を以て是が認可の指令に接したり▲英陽學校組合管理者　慶北英陽學校組合にては今回倉田熊延氏管理者に任命されたり▲尺八名家演奏　東京の川瀨順輔氏は琴古流尺八の大家にして音律譜斷法革新中興の祖なる事は一般熟知せる所なるが今回三絃の妙手里子夫人同伴來邱されたるを好機とし大邱の有志は二十日午後六時より大和樓上に於て尺八三絃演奏會を開會すと▲憲兵補助員募集　慶北倭館憲兵分隊に於ては同所、大邱分遣所、軍威分遣所に於て十六日應募憲兵補助員體格檢査を行ひたるが學科試驗は不日執行すべしとなり

若木

▲人口增加　慶北若木に於ては昨年來京釜線改良工事以來移住者增加し從て小學校生徒は目下二十六名に上り學校舍も早晚面事務所附近に移轉新築する計畫なり▲石材好況　若木驛前より東方數哩に亘り花崗石材の產出夥多にして從前より坂本氏等合資組織により經營する所ありしが昨年の如きは年額三萬五千圓以上に達し是が爲若木附近の細民に少なからざる利潤を與へつゝあり▲重石發見　若木面若木驛南方約一里の地點に從來より金鑛を經營しつゝありしが今回同鑛山より重石を發見し試驗の結果平均七十パーセント以上のものなるを確め故桂公の令弟及び永岡氏鑛主となり專ら經營なしつゝあるが此の如き生產物の爲め今後若木の發展見る可きものある可しと期待さる

人事消息

▲伴野雄次郎氏（水原模範場技師）　十五日午前釜山上陸歸任す
▲篠塚信氏（日本電報通信社長）　入京中の處十五日夜退京
▲末田新松氏（海州農學校長）　同上
▲林維之助氏（鎭南浦水產重役）　同上
▲野口榮二氏（同）　同上
▲中西定太郎氏（弘濟院主）　同上
▲河井松之介氏　十六日朝退京
▲栃野實氏（三菱社員）　同上
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）　同上
▲奧野保一氏（龍山中尉）　十六日朝入京釜山鎭へ
▲岩井長三郎氏（土木局技師）　十六日平壤へ出張
▲熊本利平氏（熊本農場主）　十六日朝出發
▲熊本彥平氏　朝刊に出發とせしは右の誤聞

●プロテアーゼの發見
四百種の黴の中から
理學博士三宅驥一氏の研究

朝鮮總督府囑托理學博士三宅驥一氏は今回蛋白質消化劑プロテアーゼを發明し星製藥所から近か〳〵内に發賣される事に成つた高峰博士のヂアスターゼは人の知る如く澱粉質消化劑であつたからこれで日本の博士が相並んで蛋白質と澱粉質との消化劑の發明が完成した譯である今度入京中の三宅博士を訪ひプロテアーゼの發見に就てお話を聞く博士曰く

プロテアーゼとは即ち蛋白分解と云ふ意味であつて蛋白質の食物を多く取る歐米人又は卵牛乳等を多く攝取する病人等に取つては是非此の

▽蛋白質消化劑 が必要である從來世間には種々の消化劑が有るが多くは皆な澱粉質の消化劑ばかりであつて唯だ一つペプシンといふ蛋白質消化劑が有るがペプシンは動物の我々の胃の中にも持つて居る蛋白質を消化する爲めに持つて居るものであるが就中一番ペプシンを多く含有して居る

▽豚の胃中から 取出すのであるがペプシンの含有量は比較的少ないから日本などのやうに僅かばかり豚を屠殺する處は到底製劑する事は不可能である今では米國で多く製らへて居るが其の値は甚だ不廉である、自分が今度蛋白質分解劑を發見したのは實に偶然の事であつて自分は農作物病害研究の爲め昨年以來

▽世界中の黴菌 を取寄せて培養し研究して居つた今の處世界には約四百種ばかりの黴菌が有るが其の内で自分は偶然にも在來日本に生存して居つた黴菌中から此のプロテアーゼ酵素を生ずる黴菌を發見したのである即ち此の黴菌は自分の食料を取る爲めに蛋白質を分解する作用を有する酵素を分泌するのであつてこの黴菌は之れを糀に殖ゑて或る適當の

▽濕氣と温度 を與へれば非常に糀は此の黴菌の爲めに一面の黴を生ずる此の時此の黴を取つて水に容れて絞り酵素だけを沈澱させて取るのである高峰博士のヂアスターゼは大根の黴から取るのであるが世間の人から憎まれ怖れられて居る黴菌から斯うして藥を取るのも誠に

▽不思議な話の 樣であるが凡ての藥は何れも毒藥變じて藥となつて居ると云ふやうな有樣である、此のプロテアーゼは純ペプシンよりも蛋白質の消化力強く又ペプシンはアルカリ性に遭へば分解して終ふから酸性の胃の中では其の効力が有るがアルカリ性の腸へ下つては忽ち其の効果を失つて終ふが

▽今回發見した プロテアーゼは酸性にもアルカリ性にも溶解せぬ故胃にある時でも腸に有る時でも同じ消化力を保つ譯である日本人はヂアスターゼの爲めに數百萬圓の金を米國へ取られたから今度は此のプロテアーゼで其の讎打ちの心算で數千萬圓を取り返へしてやる考へですと

●一部落埋沒

過般の降雨の爲め安養川下流なる京畿道始興郡安養里小字坪洞は同里南方の堤防缺潰し同部落全戸數十三戸は濁水中に埋沒し住民の一人なる閔藏麒の住家が倒壞し其他は家具家財悉く流失され住民はその日の糊口に窮し居るを以て同里の有志家及び面より炊出を爲し應急の救助を行ひつゝあり而して將來の救助に關しては郡當局に於て協議中なりと

●眞性虎疫と確定
大消毒施行=病毒は若松より

十四日午後九州若松より石炭を積載して釜山に入港せる帆船の船長山下半治郎の雇人朝鮮人船夫漢淳尹(三〇)は神仙臺檢疫所に於て檢便の結果眞性虎列拉と確定せるを以て直ちに同船積載の石炭及び船具一切の大消毒を行へり(釜山特電)

▲同船の船夫逃亡す
八戸三十二人の交通遮斷

十二日福岡縣若松を發し十四日午後二時半釜山に入港せる帆船水夫全羅南道靈水生れ朝鮮人韓壽元(三〇)は虎列拉に罹り居ながら附近鮮人飲食店にて飲食し居るを防疫檢間係に發見せられ直ちに神仙臺隔離檢疫所に送られ同店及び其附近八戸三十二人に對し交通を遮斷し警戒中の處同患者は愈十五日午後八時十分眞正虎列拉と確定せる事は既報の如くなるが同患者と同船し來りたる者は韓壽元が發病したるより自分も隔離檢疫せらるゝを恐れ何れにか逐電しおるより釜山警察署にては同人の行衛を嚴重に搜索中なるが同人は年齢三十才前後顔普通中肉中脊にして髮は五分刈にて朝鮮服を著し居るを以て萬一同人を發見したる者は至急最寄りの官憲に屆出ずべしと(釜山特電)

▲對馬の薪炭を取扱つて
又々眞性=釜山中學生卅名隔離

釜山府草梁薪炭商眞浦菊次郎(五二)は十四日夜來烈しき吐瀉下痢を始めたるを以て直ちに神仙臺檢疫所に收容診察の結果十五日朝疑似虎列拉と判明し同收容所より釜山府立避病院に收容したる處十六日午前八時檢鏡の結果

▽眞正虎列拉と確定患者 菊次郎は午前九時三十分遂に死亡したるを以て患者の家に隣接せる釜山中學校寄宿舍生徒三十名及び其他其の近傍三町以内の家屋數十戸二百餘名に交通遮斷を命じ嚴重なる消毒を行ひ防疫に努めつゝあり發病の系統に就ては釜山警察署府廳等にて極力調査中なるが何等直接感染の源因となるべき事を認めずたゞ患者菊次郎は發病の前日即ち十三日對馬より著荷し在りたる薪炭の積換等を爲したりと云へば或は此の薪炭に病毒附著しありて菊次郎の手より食物を傳ひて體内に送り込まれたるにはや非ずやとの事なるが猶釜山府にては管内に虎疫發病したるを以て直ちに防疫會議を開き取敢へず避病舍中に虎列拉病患者室を隔設し患者の住宅の四方三町の内の道路溝池沼を消毒し及び其の範圍内に在る人家を嚴重消毒を施したり猶

▲列車と防疫

鐵道局に於ては警務總監部と協議の上釜山京城間急行列車即ち一、二、五、六列車に醫員壹名を乘務せしめ乘客の健康狀態に付き注意せしむる事となり十五日より施行しつゝあり(釜山特電)

●航空學講座の新設
深川越中島に十萬坪の敷地

帝國大學に於ては航空學講座新設の件閣議に決定したるにより不日發表する筈其の講座に關しては理工科の何れに置くや懸案中なりしが愈理科大學に設置する事に決定し深川越中島なる大藏省所有空地十萬坪の内約五千坪を讓受け研究所を建設する事に決せり(東京)

北京いろいろ

(二)登高遠望

「あゝ脚が痛くなりました」「一體何段あるんですか此石段は?」「さあ――案内者に[illegible]」[illegible]登り初めたのは[illegible]段々が高いので[illegible]階の石段が莫迦に高く感ぜられる。石で築き上げた九十四尺の[illegible]は樓があり昔時を知らせ[illegible]用ひられた大太鼓が三つ許り[illegible]てゐる。元の世祖の建設し[illegible]昔時は樓上銅製の刻漏器な[illegible]唯一のものであつたのが明[illegible]燒失し其後は時辰香を點じて時を測つたと云ふ。[illegible]

□石廊には鳩

[illegible]か鵜かさたならしく屎り散らした鳩の跡が白々しく撒かれてる。『城内の白塔の方が高いんですが、此處からでも可成り遠望はきゝます。ホラ彼の丘が有名な景山です、元の世祖が初めて北京を都とした時北京城の包圍される場合燃料の不足を心配して石炭の山を築いたんだ相です。其石炭は今に使はれないで殘されてゐます。北清事變の際日本軍の[illegible]に成つたので試みに堀つて見たら矢ッ張り石炭が出た相です。然し夫れより彼の景山では明の最後の[illegible]

□眼下一眸の

[illegible]

□大五彩旗國

[illegible](除々星)

●京城神社氏子總代會

京城神社に於ては[illegible]社規則によ[illegible]の氏子總代六十七人に[illegible]選を見たる[illegible]より京城商[illegible]總代會を開[illegible]を行ひ大正[illegible]六千八百[illegible]氏座長席に[illegible]醵出金徴收[illegible]りしが結局座長の指名によりて委員十二名を擧げて之れを委託し審議せしむる事とし神社規程修正も可決し午後六時解散せり當日は府より石原事務官出席したり因て大總代の氏名左の如し

▲第一區 塚崎由太郎、小竹武次、田村義次郎、山崎鹿藏、金澤濟 ▲第二區 秋吉富太郎、山口太兵衛、釘本藤次郎、城六太、金澤至 ▲第三區 天日常次郎、新井虎太郎、河村千次郎、大垣丈夫、西宗錫 ▲第四區 (龍山側は未定)

而して神社規程によりて本年の當番は第三區なるを以て天日常次郎、新井虎太郎、河村千次郎、大垣丈夫、西宗錫の五氏は當番區の大總代なるを以て幹事に當選承諾せり

●門司の檢疫勵行
十日間に西に通過船舶千七百餘隻

門司水上警察署にては田野浦海上に二艘の汽艇を晝夜出張せしめ大阪方面より門司と若松に入港する帆船並に曳船汽船の檢疫を行ひつゝあるが最近十日間の成績を聞くに大阪より門司若松に入港の曳船汽船は十八艘帆船百五十一艘又大阪を發し門司若松以外に航行の汽船は五艘帆船は七十二艘其他大阪以外の各港を發し東より西に通過したるは曳船汽船六十九艘帆船千六百六十二艘にして右は一々檢疫しつゝあり

●小學生馬車に刎ね飛さる

京城本町一丁目四十一番地十八銀行支店員河合松之助氏の次男高橋熙は西大門小學校高等科一年生なるが十六日朝通學途中支那領事館前にて後方より狂奔し來れる空馬車に刎飛ばされ人事不省に陷りし爲め附近なる石川醫院にて應急手當を施し後總督府醫院に入院せしが生命には別條なしと

●高麗丸の就航

▽十七日午後連絡より 連絡船高麗丸は去月三十日乘客中に虎列拉患者發生せし爲め釜山港にて停留を命ぜられ去る二日解停後神戸に於て定期汽鑵修繕の爲め入渠し十三日檢査を了し下の關に廻航せるも同船入渠後神戸は虎列拉流行地と指定せられたるに付鐵道院西部管理局にては規定の五日間休航停船を行はしめ安全なるを認めたる上いよ〳〵十七日午後連絡より就航せしむる筈

●漢江の下流に
屍體浮き上る

龍山駐劄軍經理部長馬丁太田鋭松(四)は十五日夕刻無斷外出して行衛不明となり搜索中の所十六日午前漢江西氷庫下流に屍體となりて浮き上り居るを發見し京城憲兵分隊より係員出張檢視せしが同人は兩三日前より怪しき素振りありたりと言へば多分精神に異狀を呈して入水したるものならんと

●千里眼婦人來る

例の[illegible]博士の熱心研究したる千里眼にて有名なる岡山の高橋貞子は夫高橋宮二氏及び研究後援者と同伴して十五日入京京城ホテルに投宿したるが同女は透視念寫を爲し病者の治療を爲す事ありと

●惡雇人の判決

仁川府栗木里居住大工職熊本縣生れ西甚松(三五)と云ふは豫て山手町西班牙人エ、ウー氏方へ雇はれ主人が東京へ出懸けたる留守中貴金屬を仕舞ひある金庫より金側懷中時計其他價格八百餘圓の物品を窃取し入質の上全部消費したるが發覺し此程東京にて逮捕され十五日仁川支廳に押送され來れるが取調べの結果懲役六個月を云ひ渡されたりと(仁川)

●船を襲ふ

仁川海岸町木村洋行使用艀海州丸に積載しありたるマニラロープ二十九卷此代二十五圓餘を十五日午後より十六日午前迄の間に於て盜難に罹りたる旨木村組より訴へ出でたるが犯人は船夫ならん(仁川)

●福田警視の葬儀

故平壤警察署長福田警視の葬儀は九月十五日午後四時[illegible]

◇罪の芽ものがたり(2)
▽不良少年の研究

斯う云ふ不良少年等が警察署に引致され取調べを受けて居るのを屢々見する事がある警察署では保護者があれば將來を嚴しく戒めて身柄を引渡すのであるが、多くは引取人のないもの計りである、縱令保護者が京城に居住してゐても容易に引取りに來ない、假りに連れて歸つても又直ぐ逃げ出して行當りの場所を寢所とし凡ゆれば家々の[illegible]あるか取調べやうの無い者が勘くない、捨てられた少年は軈て先輩の不良少年に救はれ

◇其配下に 屬して種々の惡事のかず〳〵を敎はり遂には社會の厄介者たる不良少年の資格を具へるのである、併かし是等不良少年も迂濶に市中を徘徊してゐると警官に叱り飛ばされるから申譯に擔具を背にし又は空擔空瓶買ひの風を裝ふて居るものもある、一面には學生と化けて賊を働くものさへある更に內地人側の不良少年は朝鮮人の其れに比較して十四五歳以下の

◇年少者は 極めて稀れである、之れは一面京城居住の內地人は食に飢ゑて其結果子供を遺棄するといふが如き者がないと共に人口の數に於ても僅少である爲めである、併して甚だ僅少であるが割合に多いものは賣掛代金を横領消費する年若い店員である

◇塵芥箱を 漁り廻つて汚ないものを拾つて喰ひ或は飲食店の店頭から搔つ渫つて歩るく、そして食に飽けば又惰眠を貪るといふ有樣で實に悲慘の極みである、年齢滿十四歳以上のものは其罪に應じ裁判所で處罰されて監獄へ送られるが警察でも持て餘してゐるのは年齢十四歳以下の不良少年である京城に於ける不良少年なるものは強ち京城居住者の子弟のみではない却て他の郡部地方に生れたものが七八分を占てゐる

◇地方では 子供の養育に困り知人の京城に行く際態々依賴して京城に連れて行つて貰つて、ふといふ風で恰も犬や猫の子を遺棄するやうな氣持であるものが澤山ある京城に行けば餓死する事はあるまいといふ果敢ない望みを囑して可愛い我兒を浮世の荒波の中に追放するものも尠くないその證據には是等少年の身許を調査して見ると原籍住所は勿論甚しいのは自分の名前さへ分らぬものがある、何所の誰の子供で

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲一口噺

○甲「此頃大阪では虎列拉の爲に梅干が不足して値が上がつたそうだよ」
乙「ソレジヤ、梅干成金が出來るだらう」(一等) 鳥致院 野宮 敏英

▲日支兵衝突事件で外務省から陸軍省に電話をかけ[illegible] 龍山浦 大石 劍牛

▲親父『作が都の惡い風に染つたと聞いたものですから驚いて急いで來て見れば仲々奇麗になつて居たので安心いたしました』 京城 霞川生

▲奥サン『大變だよ京釜線が不通になつたそうだ』
女中『萬歳ですね、虎列拉が來る心配がありませぬから』

課題及び募集規定は欄外にあり

〈演藝案内〉

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 [illegible]

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花館の女義太夫 連夜好評 寺子屋 今晩の語物 林之助十八番もの是非御聞き下さい [illegible]

初日滿員御禮 見落す勿れ 舊劇 平井權八と 新派 新うしは 聞落す勿れ 奈良雀の軍事探偵談と 浪子孃の神崎東下り 本町一丁目 三越呉服店前 有樂館 電話二六六番

明治町 浪花館 電話二六〇 大阪女義太夫一座 竹本林之助一行來 [illegible]

御成座 御成町 電話一九一 新派中村榮一行 第八十九回特別興行(九月十七日) 五月物語 全十一場 [illegible]

轉居
左記肩書の所へ轉居候に付辱知諸君に謹告仕候也
京城旭町三丁目四番地 官舍(三越呉服店前東へ入る) 亥角仲藏

公賣廣告
一株式會社朝鮮勸農會ノ不動産及債權ヲ來ル九月三十日午後一時ヨリ仁川府仲町仁川倶樂部ニ於テ公賣入札ニ付ス
物件明細書ハ清算事務所ニ備付有之候ニ付御閲覧被下度候其際詳細說明可申上候也
一 田 四萬七千五百九拾六坪
一 畓 拾四萬五千百八拾九坪
一 [illegible] 三千七百五拾九坪
一 雜[illegible] 拾六萬九千五百六坪
一 林 參萬八千參百九拾參坪
一 家屋 九棟
一 堤防 [illegible]
一 閘門 壹ケ所
一 債權 九口 參千四百拾六[illegible]
大正五年九月十五日
仁川府海岸町一丁目一番地
株式會社朝鮮勸農會 清算事務所

長男芳治儀豫て病氣の處養生不相叶十五日午後三時遂に死去致候に付此段謹告候也
追て葬儀は九月十七日午後三時自宅出棺大和町教院に於て執行仕候
京城本町三丁目六七
父 日田嘉市
親戚總代 江川文吉 濱吉太郎
友人總代 岩見伊勢松 曾我勉

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目(壽館横) 朝鮮葬儀社 電話五六二番

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

●連絡船々繰 關釜連絡船々[illegible]

課題及募集規程 [illegible]

天氣 曇り一時晴れ [illegible]

婦人の化粧 美しい顔のつくりかた

◇近來婦人界の趣味は餘程進歩したやうだが殊にそれが化粧に著しく現はれて來た頬の痩せた婦人は從前は青い色の襟を平氣で掛けたりしたが是では日蔭の幽靈としか見えない

◇併し今では少し化粧法に注意する婦人ならば自身が痩形なら頬に白粉を濃く塗り襟は淡紅色とか黄ばんだ物を掛けて自然頬が豐に見ゆるやうにする

◇鼻の座が廣く兩眼の間が離いので日本人の顏は埃及の三角塔の模形を顏の眞中に押し當て居るかの如く見ゆる斯やうな婦人は眉の間から鼻の頭まで水刷毛で白粉を同じ濃さに塗り後でボカせば鼻の座が狹く眼の間が廣く見ゆるが鼻の下方へ向いてる處にも充分白粉を塗らないと鼻が短く團子鼻に見ゆ鼻の孔にも白粉を塗らないと穴が大きく見ゆて恰好が惡い

◇眉は地藏眉につり眼の諺がある通り婦人の地藏眉は柔和に見え而もつり眼は凜とした處があるも其故眉に墨を塗るならば一度に濃くせず薄いのを幾度も塗て自然の眉に見せる事が肝要である

◇眼尻を切る(染る事)には若い人は紅に一滴の墨を落して下瞼の中程から眼尻へ塗つてゆく中年の婦人は紅の中に多量の藍金粉を加へてオレンヂ色位ゐに一寸切つて置くと際だつて上品に見ゆる

◇口は小さく見ゆるのが好い故白粉を口角まで塗れば宜しい耳は何でも良いやうだが其々さうではない極めて薄く中途まで塗り垂耳から後へかけて紅を少しさした白粉を充分塗れば全體の美を整へる

お休日記

△働いたあとの樂み　櫻井小學校尋五　新庄須磨子

○八月十九日(土)晴、午前は算術のおさらひしたばかりですごしましたが、午後からはお座敷の掃除や雜巾かけや庭の草取など手つだつて一生けんめいに働きましたので、家の内外が大そうきれいになりました。七時頃兄と弟と三人で花火買に參り一番面白さうなのを二三個求めて歸りました。私はお父さん達を呼び出します。兄は紅葉の木に花火をしばりつけます、弟は『マッチ〳〵』と云ひます、大さはぎして、花火の側に集りました。皆の目は花火にそゝがれました。『シュウシュパチン』、赤い轡が『スウー』とあらはれ、今度は『ピッピパッパ』と松の葉の樣なのがきれいでした。

△雨の日　櫻井小學校尋四　若林初

○八月六日(日)今日もまた雨、朝はおかあちやんのもり、遊びに行くところがなく大こまつた。朝顔の花をとつて來て、絲にさしてほうづきをつくつてゐる妹にやつたら大そう喜んだ。あかちやんがねてから、縄なうつた。マッチのあき箱に一ばいとつたら少しはへつた、ひるはお母さんに數へられて、ほどきものをした。それがすんで、犬の子の、のみをとつてやつた。夜はお話をしてもらふかはりに、お父さんのかたをたゝいてあげました。

△小さい蟻を見て　櫻井小學校尋三　山口達子

△七月二十八日(金)はれ、朝、お母さんから、お菓子をいたゞきました。それをねんがはで食べてゐましたら、姉さんが蟻にやつてごらんと云はれました。ばらまいてやると蟻はよろこんで、小さいのや、じぶんよりも大きなかたまりを、ひつぱつて巣の中には入つて行きます。今から冬のよういをするのでせう。

△しじみひろひ　櫻井小學校尋二　中村倫

○八月二十日(日)はれ、私はお父さんと、お母さんと、ねえさんと漢江の川にしじみ貝をとりに行きました。おとうさんは舟にのつて、おさかなをつり、私たちは、あさいところで、しじみ貝をとりました。つめたい水の中に、はいつて貝をさがすのは、まことに、おもしろうございます。せんどうさんも、とつてくれましたから、たくさんになりました。うちへかへつて、おゆをつかつて、みんなで、おはなししながら、しじみ貝の、おつゆで、ごはんをいたゞきました。おいしうございました。

△明治天皇祭　櫻井小學校尋六　吉田辰三郎

○七月三十日(日)晴、本日は、明治天皇祭である、月日の經過するのは、實に速いもので、大帝崩御以來、本日を以て滿四年になる。朝起床すると直ぐ國旗を樹てた。九時頃から學校に用事があつたので、登校した。町にも學校の門にも國旗が樹てられてあつた。此の國旗を見ると、いつもならば心が勇み立つが、今日は大帝の崩御をかなしむが如く何んとなくさびしく感じた。夜、南大門本願寺で、明治帝の御話があつたから、之を聞きに行つた。就床十時過ぎ。

月見會詠草

□月下虫

○山の端の松をはなるゝ月かげに草葉の虫も見ゆばかりなり　佐々木信一

○澄みわたる月の光にたく虫のこゑもさやかになりまさるなり　佐野泰邦

○山里に消ゆるもうれしてる月を眺むる庭に虫の聲する　坪内孝

○家人はふしどに入りて靜かなる廚の月にこほろぎのなく　成田忠良

○月かげのみちみつ夜半なく虫にふみそたゆたふ野邊の淺茅生　佐野泰邦

□柱

○百歳の林木さゝへて眞木柱たてる姿の雄々しくもあるか　成田忠良

○いらか高き家の重さもさゝふるなる柱となりて世にも立たばや　佐野泰邦

○ふりつゞく雨に水嵩のまさりきて危く見ゆる橋杭かな　佐野泰邦

○かけてある名札も見えずなるばかり門の柱はつたぞかゝれる　佐々木信一

○わがむかし住まひし家の床柱木太刀のあとのあまたのこれり　佐々木信一

○歸り行く友見送りて三人四人門の柱にさゝめきにけり　坪内孝

神社とお寺と教會

○東本願寺(南山町)十六日午後七時より土曜講話あり講師は龍井、大幸兩氏

○曹洞宗別院(若草町)十七日午前九時より無風會例會あり午後八時より觀音講あり

○開敎院(本町三)十七日午後九時より日曜學校あり猶ほ午後七時半より日曜講演あり

○聖公會(南米倉町)十七日午後九時半より西田氏『宗敎生活』の說敎あり

○曹谿寺(大和町三)十七日午後一時より觀音會法話あり

○日本基督敎會(長谷川町)十七日午前九時より日曜學校、午前十時より、井口牧師の『信仰家庭の標識』午後八時より同牧師の『世界の鼓動』あり

○メソヂスト敎會(南大門通)十七日午後一時より禮拜說敎『初秋の頌』藤岡牧師午後八時より明治町二丁目牧師館『徹底せる生活』同牧師、來聽歡迎

○龍山日本基督敎會(漢江通)十七日午前八時半日曜學校、同午前十時禮拜說敎『徹底的信仰』同午後八時傳道說敎『模範的人物』伊藤牧師

○京城基督敎會(南米倉町)十七日午前十時朝拜說敎『鐵盤上の聖徒』山本牧師午後八時夕拜說敎『常道實行論』文學士高井直貞氏

○仁川メソヂスト敎會　十七日朝九時半禮拜說敎『婦人交通の道』夜八時傳道說敎『能力と證の靈』岡田牧師

會のいろいろ

□英語聖書研究會　十六日午後八時より毎週(土、日曜の兩日)西小門通培材學堂構内スミス氏邸にて開催、靑年諸君に限り無月謝

婦人界消息

△中村まつ子(芳賀院長令妹)道廳中村憲兵少佐と共に内地より旅順へ赴かるゝ途中病氣の爲め廣島にて逝去されたり

△吉米地すゑ子(吉市町吉米地氏令孃)過日東京に於て結婚されたり

△茗荷あます　花茗荷を煮立ちたる湯に入れてさつと茹で上げ水にとり水よりあげて脈に鹽を加へたるものゝ中に三十分程つけて置きかるくしぼりあげて上等の砂糖をまぶしつけて花びらを二三枚外にかへして花の如くなし付合せに用ふ(清水はつ子)

書畫骨董入札
十六日下見十七日正午開札
南山町三　佐々木聚古堂　電三三三

番茶のあと

周衣で旅行した黒板博士は總督府の講演會で曰く△私は朝鮮服は別に奇を好むで用ゐた譯ではない△古い朝鮮の歷史を味ふには事情の許す限り朝鮮の言語を用ゐ古い乘物に乘つて歩きたいと思ふ△古い頽廢した山城の上に立つにも私は周衣の人となつて古い時代を味はひたいと思ふ△これは昨年の南鮮地方を踏査した時分からの希望であつたが詰り昔しの人の氣分になつて想像の夢を見たいのである△されば私の旅には現代式の自働車や人力車は避けたいのである道廳もワザ〳〵そんな職務を戴いたが私は却つて難有迷惑に感ずる△序に古跡の復舊にも出來得る限り其の當時の工藝技術によつてやつて貰ひたいこれを現代式の機械によつてやられることは努めて避けて頂きたい……と

商況

東京公債直取引特電

十五日相場(前日との比較) 九七、三〇 [illegible]

深川在米特電

十五日現在高 [illegible]

東京期米特電

十五日前場 [illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十六日前場

限月	寄付	引値
八月限	一五、二九〇	一五、一八〇
九月限	一五、二〇〇	一五、一九〇
十月限	一五、二〇〇	一五、二一〇
十一月限	一五、二〇〇	一五、二二〇
十二月限	一五、二〇〇	一五、二四〇
一月限	一五、二九〇	一五、二九〇

下關期米特電

十六日前場　晴好頭

	當限	中限	先限
寄付	一三、九一	一四、一二	一四、四〇

雜報

製粉は機待ち

製粉の近況によれば各地にて實需の衰へたる其の後は市場の無聊にて [illegible]

ザラ紙輸出行惱

日下露國に於けるザラ紙の供給力は [illegible]

引合商談

[illegible]

對露輸出は當分行惱

[illegible]

片栗粉軟調

[illegible]

金物材ヂリ高

[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米も不勢 [illegible]

▲大豆は先づ保合 [illegible]

▲小豆は變らず [illegible]

▲肥料の現況 [illegible]

各地商況

○木浦(十四日の穀物)

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場　十五日

▲正米(又々十錢高) [illegible]

▲大豆 [illegible]

玄米　二千百六十九個

新大豆 十個

古大豆 二十個

仁川期米

▲十六日前場　大阪天候晴天　前寄十四圓四十錢

昨止同事の入電二節四十四錢の移り

七錢五節三十二錢

大阪四節三十 [illegible]

十九錢と更に安移り

返し大阪六節二十七錢と引

▲能く賣る　[illegible]

▲安全の商内　[illegible]

▲人氣動搖ず　[illegible]

▲上の商内　[illegible]

玉數四萬餘石に上る

大肩代り出來

大阪の瓦落に添

狼狽的買退を敢

不勢相場　未だ底力の無き

取組激增す

更に小二萬石を激增し十二萬九千四百石

依然强硬

以上に達し優に二十萬石

田中金之助　電話 [illegible]

市場雰聞

▲爆發跡押す　人氣沸騰

目先利喰買多

▲前場の商戰

▲大に賣る

▲三の商内

▲大に買ふ

▲今の商内

▲イの商内

▲リ大に買ふ

確實　迅速　仁川期米取引所仲買人　廣澤正太郎　電話六六三〇

仁川米豆取引所

十六日の十一月限

[illegible]

賣買取組高

[illegible]

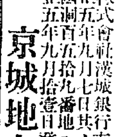
小賣白米

現金賣 一等白米 十六錢 十五錢五厘

京城府公文

京城府告示第十七號
今般墓地整理ノ爲必要ニ付高陽郡漢芝面新堂里所在京城府共同墓地内別記圖面ノ點線内ニ存在セル大正二年八月以前ニ埋葬シタル墳墓ニシテ墓標ヲ有セサルモノ又ハ墳墓トナリタルモノノ中親族知己等ノ緣故者アラハ本月末日迄ニ左記事項ヲ當府ニ申出ツヘシ其ノ他ハ新堂里火葬場看守人ニ申出テ墓標ヲ建設スヘシ
大正五年九月十五日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充
記
一　墳墓ノ位置
一　死者ノ氏名生年月日
一　死亡年月日及死因
一　祭主ノ住所氏名及死者トノ親族關係
一　申出人ノ住所氏名及死者又ハ祭主トノ親族知己ノ緣故
(圖面ハ京城府ニ就キ閲覽ノコト)

商業登記公告
韓一銀行株式會社取締役及監査役全員任期滿了ノ處左記ノ者當選大正五年八月拾八日就任シタリ
東京市麻布區富士見町四拾四番地　武田三郎、京畿道始興郡永登浦里…
（以下 [illegible]）
株式會社漢城銀行支配人李從祥八大正五年九月七日其ノ住所ヲ京城府安國洞百五拾九番地ニ移轉シタリ
大正五年九月拾壹日登記
京城地方法院


性相學會朝鮮支部
京城永樂町二丁目
運命を鑑定 毎日晝夜 [illegible]

着しく胃を爽快にする
强胃消化錠 マーゲン
島田藥學博士鑑査
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪上本町五田畑保藥房

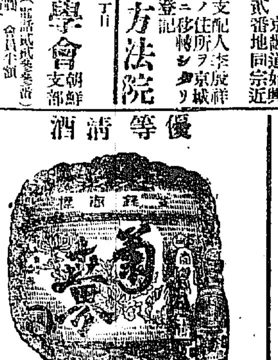
左記新築移轉致候に付舊倍の御愛顧を願上候
大邱驛前(十二間道路)
花屋旅館 電話六二五番

眼鏡
一金緣 廿二金 十二金 十八金
一穴明 十八金
縁無眼鏡 米國製金張 一銀赤銅
米國製金張 甲 乙
一赤銅縁 甲 乙
一銀縁 甲 乙
ナワ 半掛 差込
以上米國製 近視遠視平 眼(白黒)御好次第何サックは上等皮製附
送料實費四十錢但振替送金の事
眼鏡寶石貴金屬商　大阪市東區瓦町心齋橋筋　上村重兵衛　電話本局三〇四一九番 振替大阪六二六一番

本場精選の地鹽移入仕候に付一坪分以上御入用の御方には特別破顏を以て販賣仕候
▲代價の義は御照會次第直に御報告申上候
釜山本町四丁目 電話七八一番
藍玉　小津商店

會員募集
東京藥學會
藥劑師志望者にして通學の餘暇なき者は入會せよ本會は業務の傍ら容易に其目的を遂せしむ
主幹　東京藥學校講師藥學士　神谷吉兵衛
講師　飯盛前敎頭有賀學士神谷學士小島學士野口學士村山學士大河學士望月學士稻田學士福森藥劑士
本會講義錄は内容嶄新如何なる初學者にても修得尤も容易
藥劑師となる最近道は藥學士專門大家の分擔執筆せる東京藥學講義錄に限る

鑛山營業
各種鑛石買入
重石買入
Ⓚ 金石商會　京城鍾路二丁目九九番地　電話一八九九番
▲鑛物定量分拆▲鑛山測量製圖

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話 [illegible]

ゴム外套地
●防水布 雨着 其他雨具一式
見本附定價表進呈
東京市京橋區南槇町 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五 防水布商 福田豊三郎商店

再製鹽製造販賣
關東州鹽靑島鹽直輸入販賣
大日本鹽業株式會社總代理店
合名會社鈴木商店仁川出張所 仁川府本町二丁目四番地 電話長八三 受信略號(ジンセン、カネタ) 發信略號タツ又はタ
合名會社鈴木商店釜山出張所 釜山府本町二丁目 電話長七六一 受信略號(フサン、カネタ) 發信略號タツ又はタ
原鹽再製鹽共常に多大の貯藏有之候に付如何に多數の御注文と雖ども誓て充分なる安價を以て貴需に應じ可申候間多少に拘らず續々御注文仰付被下度奉希上候

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四三〇番 振替貯金口座京城八〇番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

因に下の驛にては東線荷物の四千噸以上の件備せるを以て二十、廿二、廿四の三運行を貨物專用

十五日午後釜山入港新羅丸　三等客(百廿七名)

千錢者籍券を呈す(但何號と明記に限る)

[illegible]

宮本武藏

第百六十一回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

茲で九州の諸侯、在府の者は其趣きを申渡し早速お暇を賜はりまして江戸表を出立に及びましたのが、鍋島信濃守、立花左近將監、有馬玄蕃頭、秋月長門守、五島淡路守、小笠原右近將監、伊東大和守、中川修理太夫、久留島伊豫守、其外の諸大名、陸續として歸國になりました、扨御名代は誰が宜かろうといふ評定になると板倉内膳正重昌といふ事になつた、當時板倉殿は三萬石でございまして

誠に小身でございますが有名の豪傑、俄かのお召し、取敢ず出仕に及びますると御前へ召され「此度肥前の天草一揆、容易ならざる人數を集めし由、予の名代として彼の地へ進み、九州の諸侯に下知を傳ね速かに誅伐をいたするやう、何事も其方一存を以て計らい呉れ」と盃を下されまして、勝て勝栗、よろ昆布、敵を打鮑、三種の肴、並びに鎧兜、采配等を下し置かれました、内膳正殿面目を施こし「内『上仰せの如く、一揆を誅伐仕つり上の御武勇を輝す事にございまする」とお受けに及びまして、茲で早速御出立といふ事になる、御下城をなさる時には將軍の御眼代といふ大役がございますから、大層な勢ひ、扨て御城からお歸りになると

早速東海道筋を御出馬、道中別にお話もなく京都までお乘込になりました、京都諸司代は兄の板倉周防守でありますから之へお立寄になつた、周防守重宗も大きにお喜びになつて御玄關までお出迎ひなされ、軈て座敷へお通りになつたが、平素と違ひ此度は將軍御眼代ゆゑ叮嚀に扱かひ時に周防守が「周『此度諸大名多く之ある其内に斯る台命を蒙り、天草へ下られる段、御自分は勿論、我等に

至るまで家の面目之に過ぎず、誠に喜ばしい事で、夫に就て副將は誰人にござる」内膳正カラ〳〵と打笑つて「重『御意にござる、高の知れたる土民一揆、副將などを願ひまするは餘りに仰々しき事でござるから某が一人にて向ひまする」周防守殿此

內科　小兒科　婦人科
京城醫院
村上憲佑
本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番

の一言を聞くと大きにお驚きになつた「周『さて〳〵以ての外の一言、何故副將を願はざるか、扨も〳〵」と内膳殿の顏をジッと御覧になつたが何にも仰つしやらずにズッと席を立つて其儘奥へ入つて終つた、跡に一人殘つた内膳正が、如何に兄とは言ひながら無法な致方と思つて居る處

へ周防守殿軈て間の襖をサッと開き立出でましたのは白木の三寶に土器を載せ、御自分は麻上下を著け靜かに内膳正の前へお著座なすつて「周』さて今晩悠くりお話しも致したく存れども、御自分お一人でござるから片時も遲れては上へ對して恐れ多い少しも早くお急ぎあつて然るべく、此度の一揆誅伐の儀、定めし御覺悟あらんと存ずる、兄弟今生の對面も之限りと心得るに依て盃を進上いたす」と盃と酒を出した、サア内膳

外科一般　皮膚科
淋尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光敎會隣
安部醫院
電話四一九番

正心中大きに不滿足だ、兄だから何とも言はないが、高の知れたる土民をそんなに仰々しくいふには及ばんと頻りに不平を鳴らしたが内膳殿と天晴なお方であるが、兄の周防守重宗といふ人は大した器量人、内膳正が土民一揆と侮どつて居るが、是は中々容易ならん一揆、副將といふ者が附いて參りますれば、假令落度がございましても其ほどに御迷惑はないが一人で御下知をなされ旨く行かなければ一身に引受けなければなりません、其故お別れのお盃をして早々御出立なされました、周防守殿玄關まで見送りまして、内膳殿の姿が見ゑなくなると敷臺へバツタリ倒れて、彼れと此方は骨肉の兄弟なり、此度の一揆を通常の百姓一揆と心得て出立をする、最早此世にては内膳正には逢はれまじ、といつて嘆かれましたが、實に名智の人の見る處は同じでございます、茲に大和國柾木坂の陣屋で一萬石柳生但馬守宗矩と

易數會
明治町フランス右トナリ
岡村介石

いふお方、木挽町五丁目のお屋敷を出で、丁度芝新錢座のお上屋敷仙臺陸奥守忠宗侯の許に出で、折柄御碁の御對手をいたして居りました處へ御近習が一人其へ出でまして「侍『エ、申上げまする、只今天草一揆御征伐に就て御名代として板倉内膳殿御出馬に相成りましてございます」

九月十八日九星　舊八月廿一日　戊午
本命三碧　東納　佛滅

▲三碧●　折合のつかぬ事有る日新事見合　坤の方は吉　晴報東▲四緑●　紛糾を洗ひ新事幸福を得る日　萬進で吉　待人良報を傳へ來る▲五黃●　氣の荒る事有る日新事手控へ旁事は吉　女子は行儀を守らるべし▲六白●　捨腐りの事有日　新事手控へ旁事は吉　衛生に注意せらるべし▲七赤●　厄介なる事に纏まれ事有日新事手控へ旁事は吉　一切のせわ事を禁ず▲八白●　無益の爭を起さんとす新事手控へ旁事は吉　萬事嚀にせらるべし▲九紫●　福徳の日韓居行商入營名弘企談求職　出漁婚禮釀造業等　萬吉▲一白●　計略の當る日韓居開業入學名弘求職探鑛婚禮大なる金融を計る等　萬吉物に勝の日▲二黑●　規律に悖る事有日新事手控へ旁事は吉　買物に用心せらるべし

髪をしなやかに
丈長がく
美しく房々と
漆のやうに
黒くするは
廣い世界に「タッタ一つ」
パール
煉香油
がある ばかり
……とは
パール愛用者が
おつしやる
實話であります
本舗 東京 平尾鉄也商店
關西代理店 大阪 平尾贊平支店

かつけ 胃腸 心臟 病特効 精糠
●定價金五十錢◎本舗大阪市安堂寺橋通二丁目佐藤ライト商會◎精糠は全國各藥店に販賣せり◎近時精糠と稱するにせ物有御買求の節は必ず弊店名御指命を乞

外の目藥にて效なき人は試みよ
スグに効ある目藥
登録商標
直治水
主効　トラホーム　やにめ　はやりめ　うみめ　かすみめ　めくさ　其他眼病諸症に特効あり
（点眼器付）價十錢、廿錢
本舗　大阪 東京　丹平商會藥房
全國各藥店ニアリ

內科　小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）
中島醫院
院長　中島貞信
電話三七八番

至急警告
豐富なる殺菌力を有する
純粋生葡萄酒
赤玉ポートワインは
確實に諸氏を
惡疫流行の
圈外に置く
七大博士の賞讃ご證明を有す

鯊の好季來!!!
仁川仲町三丁目（穴門通）
仁川用達社遊漁部
電話（三三五番）

お顔を清麗にする
新發明の
化粧乳……
クラブ美身乳液
■お顔の脂取り
■お顔の艶出し
■お顔の荒止め
……として一番よくきく此クラブ乳液を脱脂綿につけて毎日數回お顔をお拭になれば能く膏や汚が除れ其跡には皮膚の滋養劑のみが殘りますから何時もお顔が生々と艶やかに美しくなり何とも云へぬ好い芳香がして御氣分まで清々致します

南行　北行　南行　北行

京城日報

第三版

十七日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城本町一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

京城論壇

舊政府貯藏の記録

淺見倫太郎

[illegible]

來李朝では兵火の患に遠きものとせられてあつて、此處には有名な上院寺といふ寺がある。視察した人の話に依ると保存には相當に努めた形跡が顯然として居るといふ事である。史庫は元江陵府の所管になつて居つて、僧軍を組織して防備の任務に膺らしめてあつたのであるが、僧軍には總攝、僧將あり、租入を食んで居つたのである。近時の測量に依ると一山の面積廿一萬十一町歩あつて、藏書は璿源閣と別舘とに充實して居る。璿源閣に備藏せるものは李王の系譜と諸種の儀軌類其他政府の印刷したるもの、及び一私人の印刷物を納本せしものもある。此私版も二三百部に達するといふことである。然し何れも英宗以後の印本と認むべきものに過ぎない。此史閣の實錄は今は東京の帝國大學に保管せられて居る。次に慶尚北道太白山城の史庫は、山城の制は他の山城と同じであつて、國朝續纂外編の慶尚道奉化の條を見るに『史庫參奉二人、監察使より本縣人を以て差出す』とある。傍らに覺華寺があるが、寺の本堂は明治四十一年暴徒討伐の際燒かれたけれども史閣のみは獨り無事なるを得た。此實錄は其後京城に搬致して總督府文庫に立派に保存されて居る。又全北赤裳山の史庫に付ては、茂朱邑志の鎭堡の條を見るに『赤裳山城は府東三十里に在り、石築なり、周圍一萬六千九百二十尺、高さ七尺、外面は石壁削立し、其内面は肥沃なり、四井二十四あり、史閣は萬曆甲寅（光海君六年）の建立にして國史を藏する旨を記し、又仁祖十九年建立せるがためであらう。金魯鎭の刊行した江華府志卷上宮殿の條に史閣のことを錄して居る。之に依ると史閣は藏史の閣にして璿源閣の南に在り、顯宗元年庚子の建立で肅宗四年戊午始めて實錄を儲藏せりとある。其後同王三十三年黃欽が江華府留守たりし時改建した。又別舘あり翠香堂と名く、二錄を奉ずる處なりと記してある。二錄とは璿源譜と實錄との事である。江華島は高麗朝にも蒙古の兵亂を避けて此地に都せる事二十五年、又李朝になつても淸朝の時代に二度も此地に難を避けた事がある。其後佛のアミラル、ローゼが持歸つて現に巴里のナショナル文庫にある書籍はクーラン氏の著作に因ると裝釘の立派なものだといふが實錄ならば現に總督府に立派に保管されて居るのだから彼は實錄でないことは疑ないが多分別庫に儲藏せる王冊文か何かに過ぎない（クーラン氏の著作の號を檢すれば判明せん）以上を以て實錄儲藏の史閣並に山城の模樣は概略を述べたるが更に芝峯類說卷四史官條下にはこんなのがある

余爲內翰、因曝曬得閲地庫諸書、前●朝●時●秘●史●積●在●者●甚多、有海東金鏡錄一卷、而記事頗有可觀、又鄭招李膺所爲史稿、乃李齊賢等所撰未克成書者、天炭時政、直斥無隱、卷首又直書名、其事近古、可喜。

とある。即ち芝峰の頃までは高麗朝に於て秘密にせる歷史の多少殘存せることであつたのである。

實錄保存の場所は水火盜難に對し相當の防備を加へたることと前述の如くであるが更に年々夏秋の候には春秋館より曬手の記注官の如きものを曝曬官として（或は所在地の郡守のともある）山城に派遣する例で文科出身の少年才子が虫干等はそつち除けにして淮陽より金剛山を見物し江陵に出で五臺山の目的地を遊び廻て還たものゝ樣である麗末李初の學者權近の陽村集に『送共伸員修撰赴史七長寺序』に據れば伽耶山の海印寺より善山の得益寺、忠州の開天寺、竹嶺の七長寺に國史貯藏の場所を移轉せることも記して居るこれは壬辰の兵燹にかゝりたる忠州の實錄かと思はるゝも不明である、此序文の年月は洪武十六年秋九月だから九月の虫干ならんと思はれる、此曝史の故事は近代まで行はれたるも其弊は官費の道樂旅行と終りしは眞相である。

今度は奎章閣に秘藏されて居る承政院日記の概略を述べることゝしよう承政院日記は即ち時政記であつて、お粗末ながら現今の議事速記の如きもので當時の大臣の政治堂での意見を史官が陪席して居て記錄するもので舊政府の重要な日記である但し淨寫したものは極く古い所のものは類に記載の通り無くなつたが仁祖以來李太王の時代まで約三百年間の日記が完全に保存されて居る。此原本は實錄と違つて唯の一部丈けである。冊數は二千四百餘に上つて居る。舊政府の日記に承政院日記の外、秘書院日記、宮內府日記、奎章閣日記などあるが此は日記所管の官廳が改名したゞけであつて近年迄繼續されたものである。典客司日記（仁祖以來）日省錄（英祖以來）それから內人より出づる命令を集めた『綸音』も數百冊あるが其寫の一部は稀に外間にも傳はつて居る。日記の書き方は寄齋史草などが標本のやうなものである。其外仁祖の時の羅萬甲の丙子錄の如きは史官日記の體裁を窺ふべきものである。芝峰類說卷四史官の條下に

前代之制、左史記言、右史記動、宮中有起居注、漢司馬遷班固皆世史也、按皇明翰林、是爲史官、取諸司奏牘、分吏、戶、禮、兵、刑、工、爲十爺、編次合成之、副總裁潤色之、內閣大臣總裁閱則、其三品以上乃得立傳之、我●國●修●史●之法、概取之。

といふ一節があるが日記並に實錄の體例は芝峰の此言の通りである。將來修史の資料として實錄の必要あると否とは姑く措き假令水火盜難の災害ありとも正副四部の實錄を有するを以て一部位は世に傳はりて不時の需に應ずることを得るけれども、日記の方は天にも地にも唯一部のみである。勿論社會文化の源委と考ふる資料としては之のみにては不充分で、其何程の價値あるかは未知數であるけれども、舊政府の記錄中最も重要なるものであつて三千冊もある大部のものなれば、水火盜難の豫防方法を講ずるの必要は申すまでもなく、今日に於て多少の國費を投じて副本或は抄本を作成し置くことも緊要と思ふ。若し副本を作るとせば一冊百枚と假定し三千冊は三十萬枚で、寫字生の日課を十枚とし延日數三萬日即ち百年を要するが、一日一百人を使用しても一年を要する。其紙代や寫字料は中人一家の產どころではないが然し朝鮮でも年々漢文の寫字生が凋落することゝ疑なき事實で、今日內地に於て稀有なるに比すれば、猶ほ容易である且つ朝鮮人は勞作を好まざるも寫字の勞は古來上品なる內職とする風俗があるから左程困難でもあるまい。

關東州土地問題

關東州內の土地は宅地たると田畑たるとを問はず總て官有地にして一定料金の下に之を貸下げ居れるが都督府にては數年前より之を民間に拂下げ其の官有制度を私有制度に變更せんとするの內議あり民間の金融業者、資本家、貸家業者等亦た何れも熱心に土地拂下を希望し種々運動する所ありしも土地の私有を許すに就ては登記法の制定土地に對する金融機關の設立土地調査其他多くの準備を要し且その拂下法に關して愼重なる研究を要する點あり土地私有制度の下に起り易き土地兼併の弊害土地投機熱の勃興之れに伴ふ地代暴騰等の弊に就いても事前に之を防止するの方法を講ずる必要もあり旁々今日に及ぶも猶ほ土地拂下の實行を見るに至らざるが頃日

▽土地拂下問題 は又々世上の議に上り都督府にても今や略々大體の調査研究を了し拂下法及び土地制度變更後の方法に就いても既に決定する所あり且土地銀行たる滿洲銀行も軈ては其の設立を見るに至るべきを以て此際土地拂下の準備に着手し多年の宿題を解決せんとする意思あるものゝ如く而して當初當局者の懸念せる支那人其他外國人の土地買收は其後の經過に依り先づ殆んど杞憂に過ぎざるものとの見込立ちたるが如くなれば屢々問題となれる關東州土地拂下の一事は恐らくコゝ兩三年の間に實行せらるゝものと見て差支なからん現在の貸地制度の下に於いても大連市の如きは土地の轉賣盛んに行はれ地價頻りに騰貴し大山通浪速町界隈にては一坪百圓內外の呼値にて殆んど土地所有權の下における狀態と異ならざる有樣なれば周到なる方法を以て土地拂下を行ふことは最早や氣運の然らしむる所と認むる外なきも土地私有の下に起り易き弊害は事前において飽まで之を防止せざる可らず都督府が如何なる方法を以て之れに對するかは猶ほ明瞭を缺ぐも案ずるに

▽土地增價稅 の實施は必ず爲さゞるを得ざる主要なる事項ならん土地私有と共に境界の紛議、轉貸より生ずる葛藤、流質地の處分其他種々の係爭起るべく是等は登記法の設定及び當局裁量の如何に依りて或程度までは緩和し得べけんも土地兼併、土地投機、地代暴騰てふ惡弊害の横流を見るに至らば市街地の如きは其の餘波貸家料にまで影響し現在においても比較的高價なる貸家料は益々高價となり地主と貸屋業者のみ利益を壟斷し多數住民は生活の上に非常なる苦痛を感じ結局市の繁榮發展を阻害し滿蒙植民の上にも惡結果を及ぼす虞あれば恐らく都督府當局者も深く此點に注意を加へ土地拂下と共に土地增價稅を實施し以て兼併及び投機の害を未然に防ぎ猶ほ多數住民のために其の生活を不安ならしめざるの方法を講ずることゝ信ぜらる然らずんば現在の土地官有を土地私有に移すことは少數者の利益を圖ることに歸著し私有權實施の利益と認めらるゝ對土愛著心、土地の集約的利用、土地擔保の金融、之より生ずる商工業上の利得もその弊害の甚だしきに及ばざる結果を見るに至るなきを保せず此の意見は現に大連における多數住民の輿論なれば都督府が之を無視して一意に土地拂下を急ぐが如き輕擧は之を敢てせざるべし猶ほ農園其他に就ては其の經營者に拂下げ產業開發の上に裨益せしむるの方針を執るべく權利買賣の如きは絕對に之を防止し充分なる取締法を設くべしと聞く（大連）

野菊（五の日十の日會吟）

○辨當うれしく野菊にすはる　浮碧樓
○盲人まつたく門に入る野菊　田柿
○地辷りのひよろ〳〵と野菊踏む　句平
○野菊しつとりと大地の朝　坡柳
○野菊路を石佛の衣吹ける　虎耳
○朝陽かゝり居る崖の野菊　芳草樓
○山一とつゞきの岩野菊踏み行く　黃丘
○野菊に食事すゝかたてのよごれ　乙雨

日報歌壇

■石北局たかし（京城）
うしろからどんどんどん押れながら踏しばつてする物思ひかな

■山田遊葉（大邱）
汝とてもわが背たりともよも知らじ知らせじと思ふ我が此の心
人戀はず人に戀はれず二十とせを淨くすごしぬされど淋しき

■橋本たかし（京城）
熱を病む母衰ろへぬ八月の雨降る朝草の根を煎る

九月限　一萬石
十月限　一萬二百石
十一月限　十三萬三千百石

▲十六日の十一月限　十二圓四十八錢　十二圓四十七錢

鑑定無料
特許代願　新案再審　商標審判
東京法律事務所 特許課
東京京橋新肴町一　振替東京二六一二七　電話京橋長三〇四八番
特許辨理士 吉田三市郎
特許辨理士 田坂貞雄
特許辨理士工學士 中川五郎吉
特許辨理士 山崎今朝彌
特許辨理士 阿保淺次郎
特許辨理士 佐々木龜市郎
特許要錄進呈

日韓書房 新版報告
大町桂月著 八犬傳物語 定價九十五錢 送料十七錢
高橋伊藤著 美容法の極意 定價 送料十四錢
五十嵐力著 新文章講話 定價一圓二十錢 送料八錢
伊藤三上著 安價滋養食物の研究 定價六十五錢 送料十錢
山川治作郎著 此如何に邦文は英譯するか 定價六十五錢
京城本町二丁目

保險金受領廣告
一金五百圓也
亡大宅トレ儀豫て日清生命保險株式會社と生命保險契約締結在候處今回死亡候に付ては頭書の保險金正に受領候也
大正五年九月十七日
慶尚南道統營 大宅常市

三浦浩東書 定價三十五錢 送料四錢
[illegible]
既に定評ある斯界の泰斗三浦浩東先生の楷行草三體假名交り横書手紙文等を收む、學生事務家は勿論萬人の必修すべき時代要求の理想的手本なり（郵券代用一割增）
東京四谷阪町二六 振替東京三一九一七 香誠堂 發行

京城龍山漢江通八番地（佐久良座横）
金物電氣商 巴商行 樋口米太郎 電話四二四番
京城電氣株式會社製品 コールター一手販賣（石材販賣）
京城黃金町三丁目（永樂町東入） 巴商行 鑄物工場
大阪久保田鐵工所代理
東京神奈川電氣株式會社代理 電氣部 電話京城一四二五番

活字製造販賣
活版附屬品一式
▼美術印刷を爲すには第一活字の撰擇
▼御得意先を殖すには印刷物の鮮明
▼弊店の特色迅速と確實と廉價
今迄弊店にて鑄造販賣致候活字は未だ日淺きにも拘らず各印刷業者の御高評を受け陸續御用命を蒙り候は弊店の深く光榮とする所に御座候猶ほ新規に印刷業御始めの方には御照會に依り特に勉強御相談に應ず可候間多少に拘らず御注文の上御試用被下度願上候
京城本町三丁目廿二番地
活字製造販賣 印刷機械販賣 各種印刷物
竹內商店

鑛業所開設
鑛物の鑑定及分拆◇鑛山の鑑定◇鑛業の設計並顧問◇探鑛及治金の教方◇鑛山の測量及製圖◇鑛業の出願手續
其他鑛業上に關する一切の事項
京城永樂町一丁目十三番地（電話二八四七番）
上田鑛業所
所主 工學士 上田徹

支那兵暴行後報

我兵士一名重傷を負ふ

我が騎兵第二十一聯隊の一枝隊は蒙軍を護送して八實溝よりの歸途十四日午前喇嘛借の村落に於て支那兵の爲めに邀撃されたることは既電の如くなるが其際兵士一名重傷を負ひ馬匹三頭斃死せり新集廠楊家城子より我が應援隊出動せり(奉天特電)

張督軍の匪賊團討伐

我軍の撤退を都督府に要求す

蒙軍と分離せし匪賊團の一部は武裝を解かれしも其の他は猶ほ不法行爲を敢てするを以て張督軍は討伐の爲め我軍の撤退を關東都督府に要求せり(奉天特電)

支那國會解散電請

張勳、倪嗣沖、王占元、張作霖等の諸氏は又もや連名にて黎總統及び段總理に電報を致し現國會を解散して新たに選擧すべし尙司法總長張耀曾は阿片密輸入嫌疑者なれば免官せよと申し來れり張耀曾の件に就き十五日朝同氏宅に重立ちたる人々十數名集り協議せり(北京特電)

練銅所設置

支那政府は愈々青錢蒐集めを官營となすに決し天津に練銅所を設置したるに依り之に對し充分保護便宜を與ふべしと命じたり(北京特電)

ると又財政部は最近直隸、河南、山東の三省長に電報を發し中國、交通兩銀行員を派遣して青錢を買集めしむるに依り之に對し充分保護便宜を與ふべしと命じたり(北京特電)

蒙軍退却

蒙軍は既に遠く退却し十五日頃双城子に達したる筈なり(奉天特電)

ウ井リアム親王戰死

伯林來電に曰くフレデリック、ウ井リアム親王は巴爾幹戰場に於て戰死せりと(紐育電報)

(附記)ウ井リアム親王は現獨逸皇帝の甥に當り本年廿三歲騎兵中尉也

英國兵站署の發展

二大政黨俱樂部の建物を使用

英國政府は戰時使用の目的を以て二大政黨俱樂部即ち立憲俱樂部及び國民自由黨俱樂部の兩建物の使用權を得たるが之は兵站署の用に充つるものにて同署の膨脹の顯著なる事は頗る注目を惹くに至れり兵站署は昨年八月設立せられてより以來今日迄其の當務は著々發展し本署詰の使用人は約六千名の多きに及べるが署員の數は猶每月少くとも三百名の割合を以て增加しつゝあり且つ兵站本署は二十一個の建物を占むる外其の支配する軍需品製造工場は全國到る處に在り其の數は數千と算せられ兵站署は今や英國內に於ける最も大工場たるの觀あり殊に同署は最近に至り運輸機械の供給、露國政府に對する軍需品供給及び鐵道材料の補充等從來他署の管轄に屬し居たる職務をも併掌するに至れり(倫敦電報)

六年度豫算概要

閣議に於ける武富藏相の說明

武富藏相が十五日の閣議に於て說明したる大正六年度豫算概要左の如し(東京特電)

大正六年度歲出概算各省要求額は經常部四億二千八百六十五萬圓臨時部一億八千五百六十七萬圓合計六億一千四百卅二萬圓にして之れを前年度豫算に比すれば五年度豫算は六年度に至り當然增減するものあるを以て此の當然增減すべきものを加除すれば五年度豫算總額は經常部四億七萬圓臨時部一億四千六百六十六萬圓合計五億四千六百七十三萬圓となる而して之れを六年度歲出概算と對照すれば各省要求額の減少したるもの經常部に於て四百十二萬圓臨時部に於て八十一萬圓合計四百九十三萬圓にして新に要求の增加したるものは經常部三千三百七十一萬圓臨時部三千九百八十一萬圓合計七千三百五十三萬圓なり而して大正六年度豫算編成に就ては先般閣議に於て大體の方針を決定せるが概要は歐洲戰亂終熄の豫想困難なる今日歲入の增加を見積ること不可能なる一方に於て海軍々備補充費追加の如き大なる要求起れるのみならず陸海軍臨時軍事費及び各省臨時事件費は六年度も引續き支出の必要あり故に全體に於て歲出を緊縮するに非ざれば歲出入の均衡を保つ能はずされば六年度豫算に對しては歲出を緊縮する方針を執るを要すといふにあり大藏省にては此の大體方針に由り查定を試みたる結果新要求七千三百五十三萬圓中補充費に屬するもの八百六十萬圓特別財源の伴ふもの九百一萬圓其他のもの三千四百十九萬圓合計五千百八十萬圓を求め殘額二千七十萬圓を削減せり而して大藏當局が認容したる新要求費五千百八十一萬圓に對する財源としては自然增收一千三百三十六萬圓特別財源一千九十三萬圓歲出の要求減少に由る規定歲入の超過四百九十三萬圓歲入出の當然增減に由る規定歲入超過六百八十六萬圓合計三千六百十一萬圓を以て之れに當つることゝ爲れるが尙一千五百七十萬圓の不足あるを以て之れに對しては前年度の剩餘金を以て補ふことゝせり

總督山公訪問

寺內總督は十六日午前八時三十分東京驛發列車にて小田原に赴き古稀庵に山縣公を訪問し種々要談を遂げ午後歸京せり(東京特電)

西園寺侯歸京

伊香保に避暑中なりし西園寺侯は家族同伴十六日午後三時四十分上野驛着列車にて歸京直ちに駿河臺の自邸に入れり(東京特電)

佐藤大使出發

駐米特命全權大使佐藤愛麿氏は永町大使館附武官同伴文武官多數の見送りを受け十六日午後一時東京驛發列車にて出發同三時橫濱解纜の橫濱丸にて米國に向け出發せり(東京特電)

上院補缺當選

貴族院子爵議員山名義路子爵の補缺選擧は十六日執行開票の結果第十五銀行日本橋支店長正五位男爵小畑大太郞氏百六十八票にて當選せり(東京特電)

駐英支那公使

駐英支那公使施肇基氏は十四日奉天に來り十六日北京に向ふ(奉天特電)

京都市長推薦

京都市長候補者は十六日市會に於て臺灣銀行副總裁中川小十郞氏を推薦せり(大阪特電)

陞敍

十六日左の如く陞敍發表ありたり(東京特電)

東京帝國大學教授醫學博士 磐瀨雄一

陞敍高等官二等

煙草輸移入高

七月中に於ける製造煙草の輸移入高は口付紙卷煙草一千本價額四圓、兩切紙卷煙草十九萬一千本價額二千七百六十三圓葉卷煙草三萬四千本價額一萬四千六百七十圓、刻煙草百十二貫價額千二百八十一圓、合計數量二十二萬六千本百十二貫此の價額五千四百十五圓七十六錢にして一月以降の累計は口付十七萬五千本兩切三百十四萬一千本葉卷二十萬八千本刻千七十九貫此の價格合計六萬五千百十二圓九十三錢にして之れを前年同期間の輸移入高に比すれば刻煙草四百五十貫を增せるも卷煙草は七百七十八萬五千本を減せるを以て價額總計に於て一萬二千十一圓の減退を示し製造煙草出入の權衡は著しく出超の傾向を呈し來れり

八回移民景況

募集中の東拓第八回移民は既に應募數一千戶に垂んとしつゝあり最近締切り時日の切迫に伴ない每日數通若くは十數通宛の申込みあり殊に佐賀縣よりの應募極めて多しとの事なり尙ほ應募移民の各府縣へ申込む期日は九月三十日なれど地方廳より東拓本社に申込書を廻送し盡すは例年十一月に入る由にて多分最終の締切までには二千戶に近き申込みあらんと觀測されつゝあり

鮮鐵荷動旬報

八月下旬は雜穀、鹽、木材、石材、黑鉛、鑛石盛況前年に比し增收

本旬の荷動狀態を見るに發達噸數四萬六千〇〇一噸收入十一萬七千六百五十四圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て九千八百四十五噸(二割七分)收入に於て一萬八千六百五十三圓(一割九分)の增加を示せり而して本旬中出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

順位	品目	噸數	順位	品目	噸數
一	石炭	[illegible]	九	黑鉛	[illegible]
二	木材	[illegible]	一〇	明太魚	[illegible]
三	米	[illegible]	一一	木炭	[illegible]
四	雜穀	[illegible]	一二	石油	[illegible]
五	鑛石	[illegible]	一三	葉煙草	[illegible]
六	鹽	[illegible]	一四	生果	[illegible]
七	石材	[illegible]	一五	雜貨	[illegible]
八	大豆	[illegible]	一六	[illegible]	[illegible]

前年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し(△印は減を示す)

品目	增減噸數	品目	增減噸數
石炭	二、一四	木材	四三二
米	△一、九〇六	鹽	三九三
石材	八二九	鑛石	三三九
雜穀	七六三	葉煙草	三三一
黑鉛	五一四	雜貨	△一七一
明太魚	△二六	大豆	一〇四

即ち本旬の出荷狀況は石炭米等一二大貨物に於て稍不況を呈したれども他は概ね多少の增加を示し一般に前年に比し進境を示せり主要貨物の荷動狀況次の如し

▲石炭 出荷數量依然主要貨物中の極位を占むれども前年に比し九百十四噸の減少を示せり是は平壤炭鑛線の出炭減に因るものにして前年に於ては時局の爲め海軍用炭の需要激增し鑛業頗る繁劇を極めたりしが本年は之が需要殆んど常態に復したるが故なり反之安東發撫順炭は前況にして前年に比し三百三十噸を增加せり其仕向地の主なるものは平壤の六百七十五噸京龍地方の四百五十噸鎭南浦の二百五十噸江景の百二十五噸等とす

▲木材 出荷好況にして前年に比し四百三十三噸前旬に比し七百二十一噸の增加を示し新義州發は依然殷も旺盛にして總發送數量の六割を占む其の主要仕向地は京龍著の八百四十五噸最とし次に大邱著の五百六十六噸にして平壤著の二百〇四噸鎭南浦著の百八十七噸寺洞著の百二十四噸等順次相亞げり

▲米 米價は本旬に入り稍や軟調にして眼先大底目を控へ保合の姿を持續し加之一時活躍せし仁川定期の受渡米の輸送も略ぼ終了を告げたるにより荷動き頓に鈍狀を呈し前年に比し千百〇六七噸前旬に比し七百〇一噸の減少を示せり之が著驛別數量を示せば左の如し

釜山	一、二〇八噸	群山	三二九噸
木浦	一三九	仁川	三六四
南大門	三六四	元山	四〇七
鎭南浦	一七	滿洲	五六二
內地	六		

右の如く釜山著は依然として主位を占め次は滿洲行、元山著京城著の順位なり而して滿洲輸出は從好況にして前旬に比し三百七十七噸の激增を示せり就中鎭南浦新義州發暗海貨行最も殷盛にして三百六十四噸を算し又南大門仁川等より長春、奉天湖、撫順、本天、鐵嶺行も相當の出荷を見たり近時元山著の殷盛なるは浦鹽斯德輸出米の取引活躍せるに因るものにして共に好現象と言ふ可し

▲雜穀 前旬に比し出荷稍閑散にして五百五十七噸を減少したれども之を前年に比すれば尙ほ七百六十三噸の增加を示せり而して出荷の四割強(七百七十七噸)は小麥にして其內鐵門行百十八噸を算せり

▲鑛石 出納荷動き旺盛にして前年に比し三百三十九噸の增加を示し新安州發价川鐵鑛石は日々約百噸の出荷あり鎭南浦久原製鍊所に集荷せらるゝ金銅鑛石も亦漸增の傾向なり而して本旬の增加率が前旬に比し比較的僅少なるは前年同期に於ては鐵鑛石の外新義州發朔州產金鑛石の一時に多數出荷ありし關係に因るものなり

▲鹽 頃日來荷動き盛況を維持し前年に比し三百九十三噸の增加を示せり發驛の主なるものは南大門、大邱、三浪津、仁川、新義州、釜山、鎭南浦、群山にして仕向地は主として浦鹽斯德を主として特に鎭南浦發浦鹽斯德行四十八噸の出荷は瞩目するに足るべし

▲石材 本品は土木建築界の活躍により近時出荷頗る好況にして前年に比し八百二十九噸の增加を示せり大邱轉送として見るべきは秋風嶺若木發大邱著の二百八十九噸とし同地の長谷鄉便局舍建築用材に需要せられ又德壽、議政府發龍山著の百七十四噸は漢江架橋材料なり

▲大豆 荷動き漸次減退の傾向なりと雖も內地行は依然好況にして五百四十一噸を算せり主要驛は龍山を最とし新義州、安東、鐵原、東萊川、天安等にして仕向地は關門を第一とし次は大浦、汐留、名古屋、片町、博多、岡山、梅小路等とす

▲黑鉛 本品は近來英米兩國に於ける新なる販路の需要を喚起したると內地に於ける鱗狀黑鉛の消費額增加したる等のため出荷頗る盛況にして前年に比し五百十四噸の激增を示せり而して英米兩國仕向けのものは京元線の二三驛よりの輸送數量五百八十五噸中九割強(四百六十五噸)を占め其他は宜川、新安州、定州發大阪、惠比壽、大森、八幡行等とす

▲生果 出荷好況を持續し總數二百二十九噸を算せり之が荷動狀況は三浪津、大邱、慶山、東萊、元山等[illegible]三浪[illegible]

豆粕

季節の關係上需要殆んど出荷皆無の姿なり當分は著しき荷動きなかるべし

津、大邱發は林檎、梨の類にして菜砂、洛東江發は西瓜を主とす本旬中大邱發門司著林檎三噸の出荷あり此は同地果樹組合が香港に輸出を試みたるものにして注目に値すべし

要之本旬の貨物運輸は依然好況にして前年同期に比し一二貨物の減少を見たりと雖も雜穀、鹽、木材、石材、黑鉛、鑛石等一般に格段の盛況を呈せしを以て豫期以上の成績を收むるを得たり

咸北土地調査進捗

咸北道に於ける土地調査局細部測量は目下八班に分れ北道全部に亙り調査局員六七百名の技手測夫が配置せられ居るが土地調査局の地方實測は本年を以て最終を告ぐる事となり居り北道地方は氣候の關係より十日前に終了せしむべき豫定にて各班晝夜兼行にて努力しつゝあるが本年北道地方は降雨少なかりし爲め其進行も意外に捗取り居れりと

藥劑師試驗科目

朝鮮に於ける藥劑師第一回試驗は既報の如く受驗出願期日は來る廿五日にして十月十一日より總督府醫院內に於て施行の筈なるが學說試驗科目は物理學、化學、藥用植物學、生藥學、製藥化學、衞生化學、藥局方、實地試驗は分析學、藥品鑑定、製藥化學、調劑學等なりと

松永道長官歸任

開城郡廳に開催せる郡參事諮問會に出席の爲め同地に出張せる松永京畿道長官は十六日午後南大門驛着列車にて歸任せり

熊本視察團と同縣人

既報熊本縣教育會主催の鮮滿學事視察團は熊本中學校々長野田寬氏を團長とし縣下五郡の小學校長其他を以て組織せるが京城在住同縣人間にては同團滯京中相當の便宜を圖り且一夕の歡迎宴を開く可く協議中なる由

人事消息

▲黑板文學博士 入京中の處十六日夜退京

▲中井理學博士 入京中の處十七日退京

▲松井民次郞氏(實業家) 入京中の處十六日夜退京

▲脇村市七氏(前三井物産社員) 十六日夜入京朝鮮ホテルへ

▲遠藤大三郞氏(同) 同上

▲ギイリアム氏夫妻(英人漫遊家) 同上

▲スコット氏(竹山金鑛社員) 同上

▲高橋長秋氏(百三十銀行員) 入京中の處十七日朝退京

南言北語

過般觀光の爲め來遊して平和論を唱へて大喝采を博した米國鋼鐵王ゲーリー氏は米人にしては能く見る大富豪とは大に氣色の變つた立派な紳士である▲氏は司法官出身だから成金連や普通の薄つぺらな商人とは大に異つて居るのも尤だ▲氏の前任の鐵鋼トラスト總支配人はチョップルと云つた人で年俸八十萬弗とは聞いた丈けでシャクリの止まる人もあらうイヤ當時チョップル氏は實に世界第一の高俸を受けて居た人であつた▲現總支配人ゲーリー氏も八十萬弗の年俸を受けて居るが今日では世界で先づ二三番目位の高俸者である相な▲大概の人なら之れ位の幸福な位置になると種々の事をやるに米國人の常として時々破天荒の事を能くやるものだ▲がゲ氏は頗る眞面目であると云つて汝趣味の人ではない趣味は多方面に亙つて居る▲之も其の趣味から出たのであらうがゲ氏の保護に出て經營して居るゲーリー町と云ふ一つの町がある▲衞生設備其他萬般は無論理想に近く出來て居て云はゞ模範町である▲其模範町にゲーリーンステーと稱して中學以上大學迄の學校がある▲歐洲からも態々此學校を見に來る人が多い相な▲其又學校と云ふのが頗る巧みに出來て居る▲何處の學校でも人口の繁殖と共に敎室の不足を告げて結局校舍に困つて居る處が多い▲此の學校では其の困る處を巧妙に避けて而も學生に充分の敎育をして居るのは他に類のない處だ▲其れは敎場を併用するので例へば百人を入れる敎場を巧に利用するので二百人の敎室に當てる事が出來る▲云はゞ敎室が何時も空て居ない好く利用されて居るのである▲歐米邊では此の學校から考案して普通學校と工手學校などを併立して居るのもある相だ▲何でもない樣な事が敎育家の爲めには好參考ではなからうか

英軍攻勢戰線進出

倫敦來電に曰く英軍はソンム戰線に於て再び攻勢を執り六哩に亙る敵戰線に進擊して約三千ヤードの進出を遂げ引續き前進しつゝあり佛軍も亦ランクール迄進出せり(紐育電報)

英軍奮躍地點奪取

報せらるゝ所に據れば英軍は獨軍の第二線を突破しフレルツを奪取しマルチンプイシユの外壕を占領せり(紐育電報)

聯軍奏功

佛軍塹壕奪取

セドニアに於ける英佛塞三國軍は何れも成功を收め佛軍は幅一哩深さ半哩に亙る勃牙利軍の塹壕を奪取せり(紐育電報)

路逐館に達せる已里公報に據ればマ

九月十七日ヨリ開店

三和高麗燒竈元

本町二丁目八十六番地 富田出張店 電話五イ五ヨ四

先月釜山檢穀

日本種格外米と在來種格外米は在來[illegible]

天候不良降雨多き爲め籾摺りの好[illegible]以上の如く種々の理由あるを以て此の方法を講ずる必要あり卽ち[illegible]ず故に檢査の側にて之等の指導に努[illegible]の出荷を見掛けたる爲め藏[illegible]

屍體現はる[illegible]

大同江の流に乘って 朝鮮の古文明は傳へられた

文學博士黑板勝美氏の西鮮踏査談

這回私の史蹟踏査は西鮮地方の山河の形勢を見て來たに過ぎない、從って

▲特別の研究 を試みた譯ではない、僅々十日間の私の旅行は主として大同江を中心とせる大同江流域及び平安南道黄海道の一部分であつて [illegible] 總て各國の歷史研究は先づ其の發祥地を究めなければならぬが私は朝鮮歷史の發祥地は大同江の流域に始まると思ふ、現に私は平壤を中心に踏査して彼の洛東江、錦江、鴨綠江等の流域に任那或は百濟の

▲文明の遺蹟 を見たのであるがむかしから河川に沿ふた土地に文明の發達して居ることは今更ら [illegible]

▲關野博士は 平壤地方の古蹟調査に於て樂浪郡漢時代の遺物を發見して居られる [illegible]

▲無意識に云 [illegible]

▲海路から來 [illegible]

▲從來學界に 報告されたものは [illegible]

[illegible] も途中民家の附近で塼のからあの邊にも古墳があれる、また大同江西のむ壤を中心とした地方乃至

▲順川地方迄 あるやうである（順川は踏査せず）猶ほまた龍岡他二箇所の古墳から出た教育令の出品で見たのであるが大同江の左岸は如何といふに從

來知られて居るものには沙里院、鳳山郡の古墳もあるが這回は殷栗郡の

▲金山浦附近 一里半ばかりの地點でも發見したのである、これは山の南にある七十ばかりの古墳の中で發見したのであるがまだも少し南方にも是等の

■古墳はある と思ふのである斯の如く大同江の兩岸には古代の支那と關係深き樂浪郡の遺跡が處々に發見され猶ほ平壤の對岸附近にも無數の古墳を存しまた龍岡郡には朝鮮最古の碑文もあり兎に角平壤から河口まで一帶の地が往時此の人種の發展したことがあるのは爭はれぬ事實である

▲興味ある民族移動の跡 朝鮮歷史の出發點奈何

[illegible] から北方は如何といふに樂浪の遺跡と云はれる安州の古 [illegible] 內されたのは所謂高麗に古城址の一部であつた（然し知らず）加之ならず北方

▲清川江の流域 には今日まで顯はないのである、假令あつてもそれは大同江から移つたものであるこいへる、即ち是に見れば古代最始に支那文明の入つた路は清川江からでもなく陸面からの陸路でもなく實に大同江の河口から入つたものである、即ち支那の移民が大同江から此の平壤の先住民族を追つて

▲此處に移住し たものであるされば彼の漢民族の大移轉が行はれたも政治上の問題よりも漢民族が四郡を置いて文明を傳へたと見る方である、且つまた此の漢民族の壓迫によつて原始的の先住民族は何處に逃げたか？それが漸次南下して來れば今迄漢江、錦江、洛東、蟾津江の流域に大平氏の夢を貪つて居た

▼民族は漸次に 壓迫され第一に鬪しなければならぬ、從つてまた一方の文明を一方に傳へるこいふことになるのである、されば朝鮮の歷史を支那の側から見れば箕氏衞滿等の古いむかしに遡らねばならぬが朝鮮側から見れば此の漢民族の大移動に始まると云ひ得られる、民族の動搖、移轉、衝突これにより文明が生じ且つ歷史の生ずる所以である翻つてこれが日本に

▼如何なる影響 を與へたかこれも歷史上の面白い問題である、更に角朝鮮歷史の出發點を考へるといふと大同江流域に起たといふ推定も能きると思ふ猶ほ南北鮮の史料調査が進めばこれ等の問題の解決が出來ようかと思ふ

●豫防注射で戰のやうな騷ぎ

北里研究所の來院者毎日五百餘人

虎疫が猖獗を逞うするに連れて北里研究所や文部省の傳染病研究所は非常に繁忙を極めてゐる北里研究所の『虎疫豫防臨時注射所』の看板、注射所は本館裏二階の講堂で來院者が溢れてゐる注射當番に行くと早くも百二三十名の講堂の中央に卓子を据へ名を指圖し乍ら肩を脫いで端しから風の綠を手繰るやうに三四寸の腕へ

▲注射針を下して ゆく、何等に交つて一針受けたが痛くも何ともない、こんな手輕い虎疫を免れるのかと思つと早くしなかつたらうと考へも起る『此五六日來は朝八時から午後四時までに尠くも二百人、多い時は五百人位の來院者があるので臨時豫防醫員二十名が交代で注射してゐます其他毎日各所から出張注射を要求されるので吐を息く暇もない位多忙を極めてゐる』と當番の學士が語る、轉じて本館二階の豫防液製造室を覗くと例の高野學士が主任で北島、志賀兩博士監督の下に十數名の醫員が二十五六人の看護婦を驅使しつゝ分業的に孵卵器から寒天培養器を取り出し生きた

▲虎菌を硝子皿 に集めるものあればこれを遠心機にかけて有効成分の沈澱をさせてゐるもある更に之を食鹽水に混じたり又は石炭酸を加へて殺菌したり人々の手と目とは斯うして間斷なく危險な仕事の上に注がれてゐる高野主任は曰く『目下の處一日一千本（四萬人分）の製作をしてゐるが市內の醫師やら開業醫やら地方發生地からの注文が多いので殆んど間に合はない位です』と一方事務室では五六十人の書生や車夫やが群れてゐるが日々に豫防液の催促をしてゐる市內の醫師が出した使の者であらう、記者の去つたのは午前十一時、來院者の數は既に三百の上に出てゐた注射後六時間を經つた午後三時記者の身體には一向に發熱の模樣もなく又些かの疼痛をも感じない（東京支局一記者）

●文部省の懸賞募集

＝機宜に適した新しい試み＝

文部省にては今後國定教科書編纂の一方法として其一部資料を懸賞にて募集する事に決定其方法に就き立案中なりしが愈々左記の要件にて第一回の懸賞募集を發表したり

▲應募資料 を分ちて甲號乙號丙號の三種とす

●（甲號）● 今回修正すべき尋常小學修身書兒童用に收むる例話文

（應募規定）一、各一人十篇以內△二、人物は現存者を避くる事△三、假作物語より成る例話は一、二學年に限る事△四、資料の出所を明記する事△五、第一、二、三、四學年用は口語體とし五、六學年は文語體とす

●（乙號）● 尋常小學讀本卷一即ち第一學年前半期用全部

（應募規定）挿畫を要する者は其圖案又は考案を添附すべし

●（丙號）● 尋常小學讀本（各學年用とも）に收むる韻文、散文、其他一般教材

（應募規定）一、一人各文とも六篇以內△二、現存人物を主題とする者は避くる事△三、人物を主題とする者は資料の出所を明記する事

▲締切期限 大正五年十一月十日までとす

▲懸賞金額 優等と認むる者には左記範圍に於て賞金を與ふる事

（甲號）一等五十圓以上百圓以下各學年一篇、二等二十圓以上五十圓以下各學年二篇以上づゝ、三等五圓以上二十圓以下各學年二篇以上づゝ

（乙號）五十圓以上五百圓以下三篇以內

（丙號）一等五十圓以上百圓以下各學年用各文一篇づゝ、二等二十圓以上五十圓以下同上各二篇以上づゝ、三等五圓以上二十圓以下同上各二篇以上づゝ

尋常小學校讀本と修身書の教材

◉釜山 不正講の言渡し

釜山不正頼母子講被告五名に對し十六日午前釜山地方法院に於て公判言渡しあり被告東彥四郎懲役三年川口龍吉同一箇年龜井亮之同八箇月谷村虎吉同八箇月稻葉元藏同五箇月に處せられたり（釜山電話）

◉大日本婦人會の創立 東京本鄕駒込千駄木町四九大日本婦人會は東都諸名家の贊助を得て通信教授の方法に依り現代に適應する不良少女の防止を遂ることを目的とし毎月一回講義錄を發行し一般會員に頒布すべく第一號は十月一日を以て發行する由入會希望者は會費（一箇月廿五錢）に入會申込書を添へ（規則書入用の際は郵券二錢封入申込むべし

◆活氣に乏しい子供雜誌の繪

＝强い色彩が子供に與へる印象＝

雜誌屋の店頭に並べてある近頭の子供の雜誌を手に取つて見ると其挿繪に畫かれて居る少年少女の身體は何れも〱申し合せたやうに細々として風にも堪へぬ樣に畫かれてあり一見病身かと思はれる程弱々しく子供の生命たる生き生きした

◆活氣に 乏しいやうである、斯うした繪を見る子供達は知らず知らずの中に沈んだ弱々しい氣分の印象を受けはせぬであらうか、久留島武彥氏は子供の繪と云ふ事に就て下の如く語る

「繪が子供に與へる印象と云ふ事から云へば今日の繪は或種の二三を除く外は悉く子供に不適當なものであります、子供が繪を一番喜んで見る

◆時代は 六七歲から十二三歲位迄の極めて差別的感念の發達した時代でありますから、身體の弱々しく見ゐるやうな畫き方は勿論好ましくありませんけれど、其れよりも根本から改めて貰ひ度いのはあの强烈な色彩であります外國の子供雜誌を見ると其に用ゐられた繪の具は皆な淡綠にしろ綠にしろ白や灰が交て居て

◆原色を 殺してありますので之を見る子供達は何れも穩かな落着いた美的觀念を養成されますが、日本のは何れを見ても赤黃其まゝに使用してあるので一寸は飛び立つやうに思はれるが永く之を見ると疲勞に堪へず直に机の下へでも投げ出すやうになります、即ち美的觀念を與へると云ふよりも色の刺戟を與へるに過ぎない、要するに

◆今の繪 を畫く人達は繪の爲めに畫いてゐるのでなく賣物として競爭するに適す樣に畫いてゐるのだから、從つて子供が其繪を見て血となし肉とすには不適當であります、翻つて今の繪の一般を見ると昔の技術的であつたに引かへ大分氣分的になつて來て發足點は子供其ものでありますが、子供に取つては氣分的な繪より其に技術を加へ正確な觀念を與へるやうなものが好ましいのです然し悲しい哉

◆子供に 見せても差支ないと云ふ理想的な繪は色に於ても形に於ても意味に於ても今日は全く絕無なのです、之を改良するには前云ふ通り生の繪具即ち强烈な色彩を使用せぬ事に一注意して行けば形なざは自然と改良されて行くであらうと考へられます」

◉千里眼の貞子 再び來る

本人は面會せず

千里眼婦人で一時喧ましかつた高橋貞子が、その夫の宮二氏と後援者の若村氏と共にやつて來た、近來吾國の學界から殆んど葬られた觀のある千里眼問題の當人といふのに

▲興味を有つて 十六日の午後三時、京城ホテルに貞子を訪ねると何か差間へがあつたと見ねて夫の宮二氏が代つて應接する、千里眼問題も近頃世間の噂に上らない樣になりましたが此の問題は何時まで論じ合つて見たところで組織立つた科學とは乖離する性質を有てゐる以上如何に進步した科學を以てしても之が

▲眞理を究める 事は困難なのです、結局自然界に存在する所の總ての科學とは全く獨立した一つの事實として、社會に捧げたい希望を有つて此三四年來努力してゐるのです─と宮二氏が先づ語る、でその運動としては先づ或る實驗によつてその實理を示しその

▲結果を提示して 學者をして之れを肯定せしめやうと福來博士と提携してゐるのです、世間からはろく〱と惡評を蒙り、誤解を招くかも知れませんけれども、例の透視念寫を利用して病を視る事です、それは透視念寫が總ての物體に對して行ふ事が出來ますけれども物體に就て

▲實驗する場合 には後ろに人が隱れてゐて見るの何か不正な事をしてゐるのだらうなざゝ疑念を抱かれますが有性の人間を前に置いて、その人の病族を透視によつて發見し更に念寫によつて治療するのであつて昨年來旣々岡山で試みましたが一人として癒らなかつた者は無いのです、此の

▲實驗的療法は 記錄に殘して置きたいと思ふのでやつてゐるのですが、それから透視能力者が神經を過激に使ふ結果自然短命に終るといふ事は從來の例に徵して反對側の學者が頻りに唱へた說ですが私は幸ひに透視能力者を巧く

▲誘導して七年 間も無事に繼續して來たといふ事によつてその然らざる事實を示して若々の經驗を徹底せしめ、而かして神通力の信者の續出する事を期待したいのです、當地には一昨年も參りましたが今度來る事になつたのは有志の方から招待されましたので當地では

▲希望者に念寫 撰法をして見いとは思つて居りますがその方法なざも一切招待者に任せてあります」とのことであつたが肝心の本人の貞子は奧に引籠つて面會をしなかつた

◉聯隊と海兵團に虎疫發生

廣島步兵第七十一聯隊第七中隊二等卒松江捷市（二三）第八中隊二等卒鈴木宗一（二三）の兩名は十二日夜虎列拉に罹れるより同聯隊にては直ちに隊中の大消毒を爲すと共に兵員全部の健康診斷を行ひ第二大隊は五日間全員隔離を爲す事となりたり系統は不明又廣島市內の同患者は累計九名となりたり又佐世保海兵團にも遂に虎疫侵入し水兵一名眞正と診定され幸ひに輕症なるも一部將卒を隔離し團內全部の消毒を爲し下士卒集合所も一時部內と交通遮斷を爲し大消毒を爲し居れり又佐世保市內にても十三日夕より二名の新患者出たり（門司）

◉爆發演習中兵士四名即死す

會寧工兵隊の豆滿江に於る椿事

會寧工兵第十九大隊第三中隊は十五日午後五時豆滿江にて水雷爆發演習中中平一等卒が水雷藥莢運搬の際倒れし爲め突然爆發し附近に在りし山本、小林二上等兵辻本二等卒の四名即死し外數名は重輕傷を被れり死者の葬儀は十六日執行せり（淸津特電）

えんげい

▲有樂館 開館以來可なりの盛況にて今回番替には活劇新しき探偵活劇モルガンの盜難、新劇平井權八等何れも好評を博しつゝあり

▲浪花館 女義太夫竹本林之助一座に開演中なるが十七日夜八日目の語り物は左の如くにて林之助の語り物お俊傳兵衞猿廻しの段は過日一度出せしものなるが當夜病氣にて高座を下りたる爲め更めて出せし由

△妹背山竹雀の段（廣久）△△戀娘昔八丈鈴ケ森の段（林廣）△太功記十段目尼ケ崎の段（住子）△白石噺七ツ目揚屋の段（林玉）△三十三間堂棟由來平太郎住家の段（昇）△三かつ半七酒屋の段（久子）△玉藻前三段目道春館の段（廣市）△近頃河原達引お俊傳兵衞猿廻の段へ林之助、東馬鶴ゝ

▲呂昇來る 來月一日頃有樂館に出演の噂ありし豐竹呂昇の來京は事實となれるもの、如く例の今回發女として披露せる外六も同伴すべしさ

▲雲の溫泉行 雲右衞門死亡の報は東京新聞によつて傳へられ名古屋の療養先きに續々弔問の電報舞ひ込む滑稽を演じたるが實は同人は然までの重態でも無く十三日午前溫泉に入湯に出かけたるか回復次第當地に乘込み來る由

[illegible] 百九十六叺の增加なり而して檢査米の等級を比較するに日本種と在來種の拙劣數は在來種六百十四叺多く亦 [illegible] 且つ實驗に徵するに大概左の事情に外ならずと云ふべし

▲原因と認むべきもの [illegible] 久しく藏置ひの爲め粳質を傷めたる結果に基なき事も又原因

粳質粗惡の爲め格外に落つるもの在來種 [illegible] るに至つて藏置ひの當初に當り根本上格も下格に落つる場合少なしとせ [illegible]

品千〇九十六叺を占め前月より總數に於て百七十八叺の增加なり理由は少しく時價の好況に依ると新大豆 [illegible] 大新穀の出荷に迫りつゝあるは從來 [illegible] 改良の檢查より層一層嚴格に規則勵行し [illegible] の實績を期すると共に面目を一新 [illegible]

寫眞 寫眞銅版、亞鉛凸版 寫眞出張撮影 最も熟練せる技術を以て迅速に而も可成低廉を旨とし御需に應じ候 京城日報社 寫眞製版部

京日案內
普通 一回前金一行 三十錢 番外 一回前金一行 六十錢
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通

◉見習工募集 年齡十四歲以上二名 至急入用希望者本人來談 京城明治町一 江草電鍍工場 243

▲古樂器買受 オルガン バイオリン 琵琶 何んでも買受 本町二◉電二五二七◉ウツボヤ書籍店 165

犬猫診察入院 犬姫娠診療萬能の豫防注射 ジステンパー注射 狂犬病豫防注射 赤門通 高木獸病院 244

▲外交店員及び手代入用 京城青葉町二丁目百廿番地 大橋大三郎 240

◉店員入用 年齡十六歲以上市內確實なる保證人二名を要す 蓬萊町四 三巴酒造場 電話一〇六七 232

古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 163

◉松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す 光州加藤自働車運輸部

番外

恩給 年金 低利 確實 融通 長期即時立替 ▲對人極秘 ▲京城永樂町壹 商品陳列館前 江州屋本店 221

貸家 光化門通り遞信局横百六拾番地 水道共八圓也 官吏向 主極睽かき處にて 家賃貳 黃金町三丁目 硬窩眞館 電話二三三六 241

◉外交員募集 男女各二人 報酬は成功報酬詳細面談 開城大和町八十七番地 日本生命保險株式會社開城代理店 218

◉京城春川間行自働車賃金片道四圓 毎日午前八時出發 京城南大門通一丁目 廣橋自働車 主務 金正淵 電話二一九番 195

見本 テモンアエンカデンブンス入りの新式てんかふんデス 凉シイ布引 本町一 流木藥房 108

恩給 年金立替 一利 月一步 櫻井町大正館向 並諸公債 株券取引 博多屋本店 142

ゴム風船 ゴムホース キルクサック 其他各種ゴム製品製造卸 電話二六〇六 振替二九三三 京城太平通大漢門前 太陽ゴム商會 158

恩給 年金 長期短期無保險 月利一步二厘五毛 京城南大門外（岩御成町） 即時現金立替 山口屋 168

質 大勉强 確實誠意 永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る 秦 170

礦物定量分拆 京城府太平通（朝鮮公論社左小路） 電話一三四四番 坂元分拆所 185

恩給 年金 短期無保險 利壹步貳厘五毛 即時立替 京城武橋町二三番地 日報社北方一丁 國江商會 200

外勤員採用 生命保險 舊官吏を望む 毎日午前來談 八千代 京城支社 永樂町二ノ七六 電話一一三 216

勸業貯蓄債券高價買入致します 地方は書留郵送次第代金差上ます 京城長谷川町五八（朝鮮銀行横） 日本勸業銀行債券月賦販賣所 235

商業登記公告

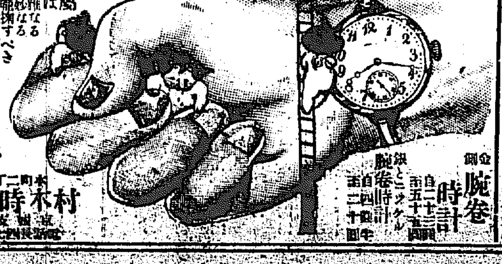
商號新設 商號 殿任商店 營業ノ種類 米穀雜貨商營業 營業所 京城府鍾路一丁目四十九番地 氏名 任淳與 右大正五年九月拾四日登記

朝鮮銀行ハ大正五年九月拾五日營口元新街ニ支店ヲ設置シタリ

漢城材木柴炭株式會社ハ本店所在地ヲ定リ依リ東蘇島里六百參拾番ニ移轉シタリ

右大正五年九月拾五日登記

京城地方法院



洋風淡雅なる意匠纖巧なる工作精巧と相俟て品位の光彩は何れも上流貴婦人方の御要求を滿して遺憾なき逸品取揃へ居候

金側腕卷時計　銀側腕卷時計

村木時計舖

開店御披露
硬質陶器一切
今般左記に於て開店致候に就ては披露の爲め此際二割引にて商品提供仕り候間多少に拘はらず御注文被下度願上候
京城明治町二丁目四八 川口商會

新刊書御案內
宗全史 村上專精
櫻井全集第六卷日記及消息
南進策と小笠原群島 山田毅一
時は過ぎゆく 田山花袋
東方調劑自療寶典 富士川游
日本住宅 杉本文太郎
諸什器取扱法
漢文 山岸鮮光
成金物語 千原伊之吉
株式閑語 五十嵐力
夜の露臺 竹久夢二
坐禪指南 [illegible]
啄木歌集 石川啄木
明日讀むべからず 丹いね子
滑稽劇ニコノ〜大會 [illegible]
雜音の中 土岐哀果
分數の解き方 [illegible]
絕島探檢十五少年物語 [illegible]
受驗必携法律講義 坂上
同 法律問答
同 朝鮮行政法規大意
同 會話譯文速成
同 作文軌範

大阪屋號書店 京城本町 電六八四、二〇八六 振替京

女鳩

渡邊默禪

「一〇七」玉の緒

狼狽して人を呼ぶのは徒らに騷ぎを大きくする、能きることなら自分の手で消止めようと、沈著な住江は咄嗟の場合にも爾う思つて、必死と蒲團をふるつて火を叩きつけたのであるが、それが恠しくも普通の火とは違つて容易に熄ねなかつた。叩けば叩くほど猶餘計に勢ひを倍して來て、右に飛び左に跳ね、はては室内一面に擴がつていつた。そして一種の惡臭が鋭く鼻覺を刺戟して呼吸も

『あツつツつ、おゝ熱』

彼女は轉がるやうに臺所の板の間に倒れた。が又た起揚つて大きな水甕の傍に這寄らうとした時に、氣が遠くなつてはたりと前へ仰つた。それでも氣丈な彼の手は猶運動を續けながら、靜かに細帶を解いた。そして上衣から彼の體を免脱けさせた。上衣は焔を吐いて猶燒けつゝあつたその殼から脱出した彼の體は、仆れたなりにころ〳〵と板の間を幾回轉してごたりと決水槽の踏板に落ちた

『うむ―』

とまるやうな苦痛を喉に感じた。あゝ瓦斯だ！瓦斯が漏れたのだと彼女は早くも氣が注いた。

後退りする時に何やら硬い物に跌づいて轉びかゝつた。どうやら臺所用の瓦斯の七輪らしかつた。是だなと思つた彼女は急いで障子を開けて臺所の方へ飛出した。そして閘に据ゑつけてあつた開閉器の螺旋をひねつてぴた〳〵と氣流をとめた。最う此時は著てゐた寢衣の袖にも裳にも火がついて、ぼつぼつと燃ねてゐたけれども、其を消す暇もなければ脱ぐ餘裕さへ持たなかつた。かくして置いて大急ぎに、臺所のバケツに水を一杯掬ひ上げて來て、ざぶりと室の火に浴せかけた。と、忽ち炎は沈まつて、ぷす〳〵と燻ぶる夜具の上に臭い煙だけが殘つた。

纖い呻き聲を發した時は、もう彼女は人事を辨へなかつた。

この響音を聞きつけて一番に駆つけたのが、二間ほど奧に離れて寢てゐたお秋さいふ女だつた。彼は二三日前に始めて杜庵から上つて來た目見得中のお針である。

『あツ、大變です〳〵。火事！火事！皆さん起きて下さい大變です』。物哦鳴つたので全家目を覺した。物騷がしい人聲足音は俄かに明るくなつた長い廊下に縺れ合つて、時ならぬ驚慌の波を靜かな春の夜の半に渦卷かした。家扶の平馬も寢衣のまゝで馳せつけて來た。近所の醫者も叩き起されてやつて來た。

その時にはお炊部屋にまだ瓦斯の匂ひと黄な臭い空氣が漂つてゐた。住江は臺所つゞきの別室に移されてから、皆なの介抱でやつと息を吹返したけれども、昏々とした樣子で更に口が聽けなかつた。

醫者は診察の結果、瓦斯の中毒で一時窒息したまでだといつた。手足にはあまり輕くない火傷を負つてゐた。十分手當をしてから、成るべく安靜に寢かして置くやうにと言置いて歸つて去つた。

お孝は一番よく働いた。他の女中は彼の指揮で動いたやうなものであつた。醫者が歸つて行くと其處に秀子が入つて來た。

『鈴木、今ちよいと大略聞いたがボヤを出したんですつて、如何したつてんでせう。一體、不注意にも程があるぢやないか。早く消ねたからよかつたやうなもの、若しも大事になつたら什麼するんです。お父樣のお留守にそんな事が有つたら大變よ私眞箇にびつくりしちまつたわ』

華な寢衣の上に被衣をかけて、立つたなりに云つた。

『はい、どうも』平馬老人は挨拶に當惑したといつたやうな語氣で『飛んだ事でございました。併し無事に消ねたんで何よりでございます。火事よりも秀さま、困つたことには住江さんが此の通り、火傷をいたしましてございますよ』。

京城本町一丁目
杉本耳鼻咽喉科醫院
醫學士　杉本砂一
電話一二三〇番

雜誌 廻讀會 新古書籍交換 圖書雜誌規定月極廻讀 賃借 振替京城三九〇四
京城本町一 電二三七八 松榮堂書店

○魚骨庵小集

明月や垣根隔てゝ語る人	芙蓉
萩の雨晴れて月上る籬	同
朝顔の蔽りすくなや萩の花	同
雨の萩庭狹き迄ひろがりぬ	同
萩に起きて一椀の茶に匂あり	同
ひたふる雨に虫競ひ鳴く夜	同
明月や男の子生れしと御使	魚骨
萩咲くとチンチロリンの中けり	同
露こぼるれば花もこぼるゝ白萩の	同
月無き夜庭の白萩白かりし	同
沛然と雨ふる中や虫の鳴く	同
琵琶やめば虫鳴く月の庵かな	魚骨

新刊紹介

▲常盤木(九月號)　本號には元祿十家句集評釋あり(二十錢東京市小石川區東青柳町三九共社)

▲新國民(九月號)　新學期に入るテーブルスピーチ、女旅の最期等の外別の通り(十五錢東京市神田區駿河臺袋町一六大日本國民中學會)

▲寫眞タイムス(九月號)　豬苗代湖に船を浮べ給ふ兩殿下、角田竹冷氏の七夕祭、盆踊りの夜の秋、朝顏品評會等には新秋の氣溢れ數種の歐洲大戰寫眞には戰爭の慘禍を察すべく其他十數枚の時事紀念となるべき寫眞如例鮮明(廿五錢東京市京橋區新肴町一八明治寫眞版所)

▲勞働及産業(第二工場法號)　標榜して工場法規一切の全文を揭載したり、全國各府縣の工場監督官の發表あり、議論正確にして各方面の意見を代表すと曰く內容を盡せり(十二錢東京府西多摩郡五日市町一一三共社發行)

▲評論之評論(七週年記念號)　體裁內容俱に一新せり森田芳宗の論、某人生の久原鑛業の解剖、日賀田男の大隈內閣の功罪、仲小路廉の調査會建設の現內閣等は本號の重要記事にして對外貿易に關しては澁澤男、加藤子の說あり人物評論には北川貞藏、長谷川鋕五郎を俎上にせるあり其他明治戰勝、東洋紡績の事業評論、關西七新進實業家紹介錄、地方長官品定め等も面白く尙ほ附錄東北版あり(本號に限り三十五錢東京市赤坂區溜池町其社)

▲滿洲實業彙報(八月號)　大正四年北滿各開貿易年報に同地方の商工貨幣調査に適すべからざる好資料にして運賃問題に關する陳情書、最近滿洲經濟事情、關東州特殊産業、大連金融概況其他依例本誌獨得の記事を收む尙ほ滿洲經濟統計四十八頁を附錄す(二十五錢大連商業會議所)

▲海友(八月號)　本號には船腹調節、列國の海運政策、東淸鐵道の讓受と松花江航行權等の重要記事の外壯烈なる探險、船員と宗教其他の雜錄あり特に船舶職員試驗改正規則を附錄す(十五錢大連市東公園通一大連海務協會)

▲美容法の極意(高橋錄一郎伊藤和賀共著)　醫學に立脚し皮膚の構造、官能より衛生法、精神、日光等の美容に及ぼす關係其の療法等より毛髮の發生及び毛髮病の療法等に至る迄至極平易に說明せるのみならず價亦廉(十錢東京市牛込區神樂町一東雲堂)

▲電氣化學(九月號)　化學工業と研究機關—吉武博士『電氣鐵と研究機關』鬼倉鑛業『石川縣の電池に就て』(神料理學士)等の外燐酸製造法、世界に於ける電氣化學界の趨勢、窒業固定電氣爐等依例研究に對し通す(二十五錢大阪市西區西四條通三共社)

▲鬼の面(谷崎潤一郎著)　放埒なる富豪の家庭に食客として寄寓せる高等學校の秀才が境遇と四圍の感化さに依り晦渋行なる彼の感受性は終に彼をして不知不識の裡に惡の勝利者たらん迄に苦惱を表はんとせる自身を好智の假面に依つて描出せる心理變化と其の經路とたる著者獨得の描寫なる味ふべきの著にして行立亦依例流麗な圖譜(八十錢東京市日本橋區濱町二の一二須原啓興社)

▲保險新聞(九月號)　九錢東京市神田區北神保町八其社

▲大阪仕入案內(九月號)　十五錢大阪市西區阿波堀通岡崎南詰南其社

▲トモダチ(十月號)　十二錢東京市麴町區富士見町一の三〇三其社

▲日の丸(十月號)　八錢東京府下澁谷東エビス文教社

▲吾輩も大に山岳狂君に贊成だ僕は登山もよからうが古戰場も訪問も好いと思ふ

▲一時盛であつた鑛山熱も大分下火になつた樣だが滑稽なのは當時七八萬に落着いてやつた先生方が許可になつて見ると採鑛には金がないさりとて出資者もなければ買い手もないので大に閉口して居るものが多い實は僕もその其一人だ(長屋の琢生)▲京城は何にも高いなんて云ふが其う云ふ人に限つて米の價も知らずに棚から牡丹餅の樣な事を夢に見て居る連中だらうマア大に働き給へ(着實な男)▲南大門內朝市場へ行くと彼の狹い混雜な町の中央に大きな荷馬車を馬諸共に投り放つしに仕て置いて通行妨害をやる上にチゲが長いチゲを背負つて數人ブラ〳〵して居るので益々往來の妨害になる彼處丈けは治外法權でもあるまい本町の左側通行をやつても餘り怒られぬ樣ではないか(コック生)▲今度の演習を是非京城附近でやつて市民に見せて陸軍の活動振りを喜ばせて貰いたいですね(增師運動者の一人)▲此頃市中の看板にポツ〳〵見にくいのか出來出した個人主義の商賈人にも困つたものだ(新美術家)▲京城猶友會諸君クレ—や雀や雉子のみを狙はずと今年は大擧して金剛山に熊狩でもやつては何うです近時振はざる事甚しいではないか設立當時の意氣ありや否や商人の食い物とならざらん事を希望す(會員總代)

京城學校組合告示第一號
大正四年度京城學校組合歲入出決算認定ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ
大正五年九月十六日
朝鮮總督府京城學校組合管理者 京城府尹 金谷充

大正四年度京城學校組合歲入出決算

[illegible]

十二指腸蟲病　説明書は往復葉書にて申込次第進呈　大邱府東城町　電話四六三番　水田藥院

長壽靈品は「ヨーグルト」　滋養・健康の母は「荒井の牛乳」　京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一一〇四番

醇良清酒　仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

浪平板　鐵　洋釘　京城府南大門通三丁目福田又京城支店　長電一二二二　振替貯金京城二九二

質　京城黃金町二丁目永樂町(停留所北入)　堀佐營業所　(電話六三九番)

醇良清酒　大阪府堺市 釀造發賣元 肥塚源次郎　京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎　同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

蠶繭買物業　京城府龍山漢江通八番地　河原壽夫繭絲店　電話(龍)四一二番

温陽温泉　閑靜にして避暑寒に宜し

新荷著 懷中時計

インゲルソール時計 京城本町二丁目 金泉商會

金泉醴泉間自動車 金泉自動車支部

共同汽船出帆

汽船釜山出帆廣告

日本郵船出帆

尼崎汽船出帆

朝鮮郵船出帆

大阪商船出帆

[illegible]